



令和5年度神奈川県公立高等学校入学者選抜

募集案内

【目次】

はじめに

| | | |
|----|------------------------------------|-------|
| 1 | 神奈川県公立高等学校入学者選抜制度の概要 | 1ページ |
| 2 | 特別募集など | 2ページ |
| 3 | 令和5年度入学者選抜の日程 | 3ページ |
| 4 | 入学者選抜のながれ | 5ページ |
| 5 | 入学者選抜について 基本事項Q&A | 7ページ |
| 6 | 調査書の見本 | 11ページ |
| 7 | 面接シートの見本 | 12ページ |
| 8 | 選考基準の見方 | 13ページ |
| 9 | 神奈川県公立高等学校入学者選抜選考基準 | 14ページ |
| 10 | 特色検査の概要 | 30ページ |
| 11 | 神奈川県公立高等学校の所在地（概略） | 32ページ |
| 12 | 県内私立高等学校入学者選抜の概要 | 33ページ |
| 13 | 公立高等学校の受検料等の額 | 35ページ |
| 14 | 公立高等学校の就学支援金制度の概要 | 36ページ |
| 15 | 高校生の就学援助制度の概要 | 37ページ |
| 16 | 私立高等学校等の学費支援制度等について | 39ページ |
| ◆ | 県外・海外・私学からの令和5年度神奈川県公立高等学校への志願について | |

この『募集案内』には、令和5年度神奈川県公立高等学校の入学者選抜に関する様々な情報を掲載しています。みなさんの高等学校選択を確かなものとするため、この冊子を十分に活用してください。また、内容について、わからないところは、中学校の先生や、志願しようとしている高等学校等に問い合わせてください。

は じ め に

—神奈川県公立高等学校を志願する皆さんへ—

令和5年度入学者選抜では・・・

- 1 全日時の課程、定時制の課程および通信制の課程のすべての学校で、共通選抜を実施します。また、夜間の定時制の課程および通信制の課程の学校では、定通分割選抜も実施します。

[令和5年度の募集に関する変更点]

- 再編・統合により新しい高等学校としてスタートする学校が3校あります。
 - ・ 県立瀬谷高等学校と県立瀬谷西高等学校は、再編・統合し、普通科の募集を実施します。
 - ・ 県立逗葉高等学校と県立逗子高等学校は、再編・統合し、普通科の募集を実施します。
 - ・ 県立城山高等学校と県立相模原総合高等学校は、再編・統合し、単位制普通科の募集を実施します。
- ※再編・統合による学校名は今後正式に決定します。
- 新たに在県外国人等特別募集を実施する高等学校（2校）は次のとおりです。
 - ・ 横浜市立横浜総合高等学校（単位制総合学科Ⅱ部（定時制））
 - ・ 川崎市立川崎高等学校（普通科昼間部（定時制））
- インクルーシブ教育実践推進校特別募集の志願資格の要件を緩和します。また、インクルーシブ教育実践推進校特別募集二次募集の志願の範囲を拡大します。
 - ・ インクルーシブ教育実践推進校特別募集の志願に係る通学地域の要件を撤廃します。
 - ・ インクルーシブ教育実践推進校特別募集の二次募集と定通分割選抜を同時に志願することができます。
- 次のことについて、年齢要件が変わります。
 - ・ 調査書の提出を要しない年齢が、「20歳以上」から「18歳以上」になります。
 - ・ 願書の保護者欄への記入を要しない年齢が、「20歳以上」から「18歳以上」になります。
 - ・ 定時制の課程及び単位制による定時制の課程において、作文をもって学力検査に代えることができる年齢が、「20歳以上」から「18歳以上」になります。
- ※年齢は令和5年4月1日現在

2 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応について

- 共通選抜における志願手続の郵送対応を実施します。
 - ・ 県内国公立中学校等に在籍している生徒の皆さんは、原則として入学願書等の提出書類を中学校でとりまとめ、志願先の高等学校へ郵送等により提出します。なお、志願変更手続は、志願先および志願変更先の高等学校の窓口で行います。
- 合格発表 Web サイトによる合格発表を実施します。
 - ・ 志願先の高等学校で受検生一人ひとりに合格発表を行うサイトの URL とパスワードを配付します。サイトに、受検番号とパスワードを入力することで、自分だけの合否結果を確認できます。
- 新型コロナウイルス感染者または濃厚接触者を対象とした追加の検査を実施します。
 - ・ 新型コロナウイルス感染者または濃厚接触者と認定されたことにより、2月に実施する検査（追検査を含む。）を受検できなかった者を対象として、下記の日程により追加の検査を実施します。

| | |
|-------|-----------|
| 検査の期日 | 3月 9日（木） |
| 合格発表 | 3月 15日（水） |

* 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、今後、様々な対応を行う場合があります。

1 神奈川県公立高等学校入学者選抜制度の概要

| | 全日制 | 定時制 | 通信制 |
|-----------|--|--|-----------------------------|
| 募集 | 募集人員は募集定員の100%とします。 | 募集人員は募集定員の80%とします。 ※ 夜間以外の定時制は募集定員の100%とします。 | |
| 志願 | ひとつの課程・学科・コース等に志願します。志願変更ができます。志願には願書と面接シート等を提出します。 | | |
| 検査 | 【共通の検査】 (*1) (☆) 学力検査(原則5教科)・面接 ※ 特色検査を実施する場合は3教科にまで減じる場合があります。 | 【共通の検査】 (☆) 学力検査(原則3教科)・面接 ※ 理科・社会を実施する場合があります。 | 面接または作文 |
| | 特色検査(実技検査・自己表現検査)を実施する場合があります。 | | |
| 選考 | 【第1次選考】 募集人員の90%まで、調査書の評定(2・3年)(*2)と実施した検査の結果をもとに定められた数値算出の方法(※)で選考します。 【第2次選考】 調査書の評定を用いずに、実施した検査の結果をもとに募集人員まで選考します。(*3) | | 調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。 |

共通選抜の機会

☆ 共通の検査の学力検査(外国語(英語))においては、全日制・定時制ともにリスニングテストを実施します。

特別な設置趣旨の学校について

*1 クリエイティブスクール(県立田奈高等学校、県立釜利谷高等学校、県立横須賀南高等学校の普通科、県立大井高等学校、県立大和東高等学校)は、学力検査を行いません。

*2 クリエイティブスクールは、調査書の評定は使わず、観点別学習状況を活用します。
フロンティアスクール(県立横浜明朋高等学校および県立相模向陽館高等学校)でも、調査書の評定は使わず、必要に応じて観点別学習状況を活用し総合的に選考します。

*3 県立横浜国際高等学校では選考方法が異なります。10 ページの基本事項Q&A や 19 ページの選考基準を参考にしてください。

<二次募集>

欠員がある場合、必要に応じて実施します。

定通分割選抜の機会

募集

共通選抜の募集人員を差し引いた人員を募集(共通選抜の募集人員を満たしていない人員も加えます。)

志願

ひとつの課程・学科に志願します。志願変更ができます。志願には願書と面接シート等を提出します。

検査

【共通の検査】
学力検査(3教科)・面接

面接または作文

特色検査を実施する場合があります。

選考

調査書の評定(2・3年)と実施した検査の結果をもとに定められた数値算出の方法により選考します。

調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

【共通選抜の二次募集】

学力検査(3教科)を実施し、面接を行う場合もあります。調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

【定通分割選抜の二次募集】

定時制は面接、通信制は面接または作文を実施します。調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

※ 数値算出の方法

調査書の評定(A)・学力検査の得点(B)・面接の結果(C)をもとにします。

それぞれを100点満点に換算した(a)、(b)、(c)を各学校が定めた比率(f、g、h)で合計数値を算出します。

合計数値 $S = (a) \times f + (b) \times g + (c) \times h$ (f、g、hは2以上の整数とし、 $f+g+h=10$ となるよう設定します。)

特色検査を実施した場合は、その結果(D)を100点満点に換算した(d)を加えます。

合計数値 $S = (a) \times f + (b) \times g + (c) \times h + (d) \times i$ (iは1以上5以下の整数とします。)

◎ 第2次選考では(a)点は使用せず、 $g+h=10$ となるように比率(g、h、(特色検査を実施した場合はi))を改めて設定し算出します。(*3)

2 特別募集など

特別募集

海外帰国生徒特別募集

海外に長期滞在をして帰国、または帰国予定の受検生を対象とした募集です。

在県外国人等特別募集

神奈川県内に在住で外国籍を持っている、または日本国籍を取得した受検生を対象とした募集です。

インクルーシブ教育実践推進校特別募集

神奈川県内の中学校等に在籍する知的障害のある受検生を対象とした募集です。

※ 全日制および定時制の課程の志願資格については7ページを参照してください。

志願資格

- ★ 全日制の課程の志願資格を満たしている人
- ★ 原則として、保護者の勤務等の関係で、継続して2年以上外国に在住して帰国した日が令和2年4月1日以降の人（県立神奈川総合高等学校の後期募集の場合は、令和2年10月1日以降に帰国した人）

以上の条件をすべて満たす人

- ★ それぞれの課程の志願資格を満たしている人
- ★ 外国の国籍を有する人(難民と認定された人を含む)、または、日本国籍を取得して6年以内の人で、いずれの場合も、入国後の在留期間が通算で6年以内の人(令和5年2月1日現在)

以上の条件をすべて満たす人

- ★ 全日制の課程の志願資格を満たしている人
- ★ 神奈川県内の中学校等に在籍する知的障害のある人
- ★ インクルーシブ教育実践推進校が実施する中高連携事業などへの参加をとおして、高等学校での学習や生活について理解し、入学意欲のある人

以上の条件をすべて満たす人

実施校

【県立(全日制)】

- ・ 神奈川総合高等学校(単位制普通科国際文化コース)
- ・ 横浜国際高等学校(単位制国際科)
- ・ 新城高等学校(普通科)
- ・ 相模原弥栄高等学校(単位制普通科)
- ・ 西湘高等学校(普通科)
- ・ 鶴嶺高等学校(普通科)
- ・ 伊志田高等学校(普通科)

【市立(全日制)】

- ・ 横浜市立東高等学校(単位制普通科)

※ 県立神奈川総合高等学校では、後期募集(7月)も実施します。

【県立(全日制・定時制)】

- ・ 鶴見総合高等学校(単位制総合学科)
- ・ 横浜清陵高等学校(単位制普通科)
- ・ 横浜旭陵高等学校(単位制普通科)
- ・ 新栄高等学校(普通科)
- ・ 川崎高等学校(単位制普通科)
- ・ 大師高等学校(単位制普通科)
- ・ 橋本高等学校(普通科)
- ・ 相模原弥栄高等学校(単位制普通科)
- ・ 高浜高等学校(普通科)
- ・ 藤沢総合高等学校(単位制総合学科)
- ・ 大和南高等学校(普通科)
- ・ 伊勢原高等学校(普通科)
- ・ 座間総合高等学校(単位制総合学科)
- ・ 愛川高等学校(普通科)
- ・ 横浜明朋高等学校(単位制普通科午前部・午後部(定時制))
- ・ 相模向陽館高等学校(単位制普通科午前部・午後部(定時制))

【市立(全日制・定時制)】

- ・ 横浜市立みなと総合高等学校(単位制総合学科)
- ・ 横浜市立横浜商業高等学校(国際学科)
- ・ 横浜市立横浜総合高等学校(単位制総合学科Ⅱ部(定時制))
- ・ 川崎市立川崎高等学校(普通科昼間部(定時制))

【県立(全日制)】

- ・ 城郷高等学校(普通科)
- ・ 霧が丘高等学校(普通科)
- ・ 上矢部高等学校(普通科)
- ・ 川崎北高等学校(普通科)
- ・ 橋本高等学校(普通科)
- ・ 上鶴間高等学校(普通科)
- ・ 津久井浜高等学校(普通科)
- ・ 湘南台高等学校(普通科)
- ・ 茅ヶ崎高等学校(普通科)
- ・ 厚木西高等学校(普通科)
- ・ 伊勢原高等学校(普通科)
- ・ 足柄高等学校(普通科)
- ・ 綾瀬高等学校(普通科)
- ・ 二宮高等学校(普通科)

※ 特別募集および中途退学者募集とも共通選抜と同日程で行います。

志願

ひとつの募集の課程・学科・コース・部に志願します。志願には願書を提出し、面接シートを提出する学校もあります。なお、インクルーシブ教育実践推進校特別募集では、インクルーシブ教育実践推進校特別募集用面接シートを提出します。志願変更は一般募集との間でもできます。ただし、それぞれの募集に係る志願資格を満たしている人に限ります。(志願変更の際、願書や面接シートを改めて作成する場合があります。)

検査

学力検査(外国語(英語)、国語、数学)、作文および面接
 ※ 県立横浜国際高等学校国際科国際バカロレアコースにおいては特色検査(自己表現検査)を実施します。

学力検査(外国語(英語)、国語、数学)および面接

面接

選考

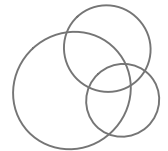
調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

中途退学者募集・・・高等学校等の中途退学者を対象とした募集です。
 〈志願資格〉★全日制の課程の志願資格を満たしている人
 ★高等学校等に1年以上在籍した後に中途退学した人で、高等学校等の修得単位がある人
 以上の条件をすべて満たす人
 〈実施校〉【県立(全日制)】・横浜桜陽高等学校(単位制普通科) ・川崎高等学校(単位制普通科)
 ・麻生総合高等学校(単位制総合学科) ・厚木清南高等学校(単位制普通科)

※ 連携型中高一貫教育校連携募集については8ページ、各募集の各校の選考基準については23ページ以降を参照してください。

3 令和5年度入学者選抜の日程



| 月日 | 曜 | 事項 | 月日 | 曜 | 事項 | |
|-----|---|---|--------------|----|--------------------------------|-----------------------|
| 1/1 | 日 | 元日 | 2/1 | 水 | 共通選抜 窓口募集期間(全・定・通) | |
| 2 | 月 | 志願資格承認申請期間(県教育委員会) 学区確認申請期間(横浜市・川崎市教育委員会) ※令和4年12月3日及び12月5日(成人の日)を除く。 | 2 | 木 | | 窓口募集期間(別) 調査書提出(別) |
| 3 | 火 | | 3 | 金 | | |
| 4 | 水 | | 4 | 土 | | |
| 5 | 木 | | 5 | 日 | | |
| 6 | 金 | | 6 | 月 | 共通選抜 志願変更期間(全・定・通) | |
| 7 | 土 | | 7 | 火 | | |
| 8 | 日 | | 8 | 水 | | |
| 9 | 月 | | 成人の日 | 9 | 木 | |
| 10 | 火 | | 12月29日(成人の日) | 10 | 金 | |
| 11 | 水 | | 12月29日(成人の日) | 11 | 土 | |
| 12 | 木 | 12月29日(成人の日) | 12 | 日 | | |
| 13 | 金 | 1月3日(成人の日) | 13 | 月 | | |
| 14 | 土 | 1月16日 | 14 | 火 | 共通選抜 共通検査(学力検査等)・特色検査(全・定・通・別) | |
| 15 | 日 | 1月16日 | 15 | 水 | 共通選抜 共通検査(面接等)・特色検査(全・定・通・別) | |
| 16 | 月 | 1月16日 | 16 | 木 | 共通選抜 共通検査(面接等)・特色検査(全・定・通・別) | |
| 17 | 火 | | 17 | 金 | (面接・特色検査)(全・定・通・別) | |
| 18 | 水 | | 18 | 土 | | |
| 19 | 木 | | 19 | 日 | | |
| 20 | 金 | 志願資格承認書、学区確認結果通知書窓口交付開始 | 20 | 月 | | |
| 21 | 土 | | 21 | 火 | | |
| 22 | 日 | | 22 | 水 | 追検査(全・定・別) ※1)※2) | |
| 23 | 月 | | 23 | 木 | 天皇誕生日 | |
| 24 | 火 | | 24 | 金 | | |
| 25 | 水 | 共通選抜 郵送募集期間(全・定・通・別) | 25 | 土 | | |
| 26 | 木 | ※ 海外帰国生徒特別募集及び在県外国人等特別募集を除く。 | 26 | 日 | | |
| 27 | 金 | | 27 | 月 | | |
| 28 | 土 | | 28 | 火 | 共通選抜 合格発表(全・定・通・別) | |
| 29 | 日 | | | | | |
| 30 | 月 | 共通選抜 窓口募集期間(全・定・通) | | | | |
| 31 | 火 | | | | | |

(注)1 (全)・・・全日制の課程 (定)・・・定時制の課程 (通)・・・通信制の課程
 (定(夜間以外))・・・夜間以外の定時制高等学校

(定(夜間))・・・(定(夜間以外))の6校を除く定時制高等学校
 (別)・・・別科(横浜市立横浜商業高等学校別科)

(注)2 共通選抜と同日程で連携募集、特別募集および中途退学者募集を行います。

(注)3 共通選抜において、一部の高等学校では2月17日(金)が面接および特色検査の検査日となる場合があります。

(注)4 追検査の日程について、(※)の標記はそれぞれ以下を表します。

(※1) 一般募集(共通選抜(クリエイティブスクールを除く。))、特別募集(インクルーシブ教育実践推進校特別募集及び後期募集を除く。)、中途退学者募集及び別科において、学力検査又は作文(定時制の課程において、作文をもって学力検査に代える場合に限る。)を実施します。

(※2) 一般募集(共通選抜(クリエイティブスクール))、連携型中高一貫教育校連携募集(県立光陵高等学校を除く。)及びインクルーシブ教育実践推進校特別募集において面接を実施します。

(注)5 共通選抜、定通分割選抜における「特色検査」とは、各校が特色に応じて実施する検査で、実技検査および自己表現検査またはそのいずれかをいいます。

(注)6 クリエイティブスクールにおいては、学力検査は行わず、面接を実施します。また、特色検査を行う場合があります。

(注)7 二次募集は、必要に応じて実施します。

| 月日 | 曜 | 事 項 |
|-----|---|-------------------------------------|
| 3/1 | 水 | |
| 2 | 木 | ↑ 定通分割選抜 募集期間 (定(夜間)・通) |
| 3 | 金 | |
| 4 | 土 | ↑ 調査書提出 (定(夜間)・通) |
| 5 | 日 | |
| 6 | 月 | ↑ 定通分割選抜 志願変更期間 (定(夜間)・通) |
| 7 | 火 | |
| 8 | 水 | ↑ 二次募集 募集期間 (全・定(夜間以外)) |
| 9 | 木 | |
| 9 | 木 | 追加の検査 |
| 10 | 金 | 定通分割選抜 共通検査(学力検査・面接等)・特色検査(定(夜間)・通) |
| 11 | 土 | |
| 12 | 日 | |
| 13 | 月 | 定通分割選抜 共通検査(面接等)・特色検査(定(夜間)・通) |
| 14 | 火 | |
| 15 | 水 | 追加の検査 合格発表 |
| 16 | 木 | |
| 17 | 金 | 定通分割選抜 合格発表(定(夜間)・通) |
| 18 | 土 | |
| 19 | 日 | |
| 20 | 月 | |
| 21 | 火 | 春分の日 |
| 22 | 水 | ↑ 二次募集 募集期間(定(夜間)・通) |
| 23 | 木 | |
| 24 | 金 | ↑ 調査書提出 (定(夜間)・通(二次)) |
| 25 | 土 | |
| 26 | 日 | |
| 27 | 月 | 二次募集 面接(定(夜間))・面接又は作文(通) |
| 28 | 火 | |
| 29 | 水 | 二次募集 合格発表(定(夜間)・通) |
| 30 | 木 | |
| 31 | 金 | |

(注)8 県立神奈川総合高等学校における海外帰国生徒特別募集については、上記日程で募集するほか、後期募集を行います。日程は、次のとおりです。

募集期間 令和5年7月24日(月)～7月26日(水)
検査の期日 令和5年7月28日(金)
合格発表の期日 令和5年8月2日(水)



定通分割選抜、共通選抜・インクルーシブ教育実践推進校特別募集・定通分割選抜の二次募集について

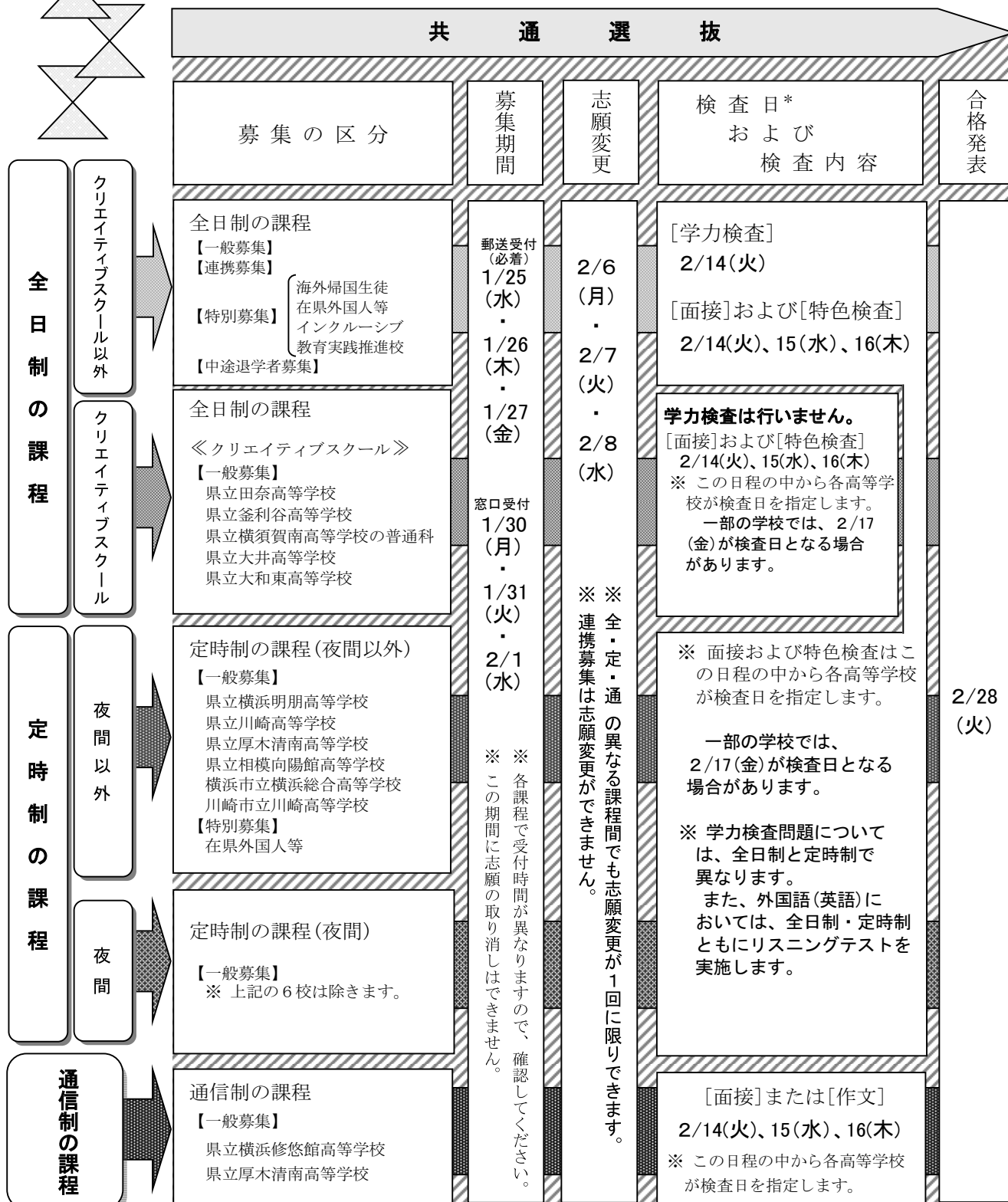
「定通分割選抜」および「共通選抜の二次募集」については、募集期間および志願変更期間は同一の日程となっていますが、それぞれの募集を実施している高等学校を1校ずつ同時に志願できます。

また、「定通分割選抜」および「インクルーシブ教育実践推進校特別募集の二次募集」についても、募集期間および志願変更期間は同一の日程となっていますが、それぞれの募集を実施している高等学校を1校ずつ同時に志願できます。ただし、「共通選抜の二次募集」と「インクルーシブ教育実践推進校特別募集の二次募集」は同時に志願できません。

「定通分割選抜の二次募集」については、定時制および通信制のいずれかの課程において、募集を実施している高等学校を1校のみ志願することができます。

志願変更については、異なる課程間も含めて、1回に限り変更できます。

4 入学者選抜のながれ



* 追検査および追加の検査の日程については3・4ページの令和5年度入学者選抜の日程を参照してください。

横浜市立横浜商業高等学校(別科)

募集期間:
 ・ 郵送受付(必着)
 1/25(水)~1/27(金)
 ・ 窓口受付
 1/30(月)~2/8(水)
 (土日は除く。)

➡➡➡➡

※ 志願変更は
できません。

検査日: 学力検査 2/14(火)
 面接 2/15(水)、16(木)
 ※ 面接はこの日程の中から高等
 学校が検査日を指定します。

➡

合格発表
2/28(火)

※ 合格発表後の入学手続きの日程等については、各高等学校で定めておりますので、各高等学校にお問い合わせください。

共通選抜の二次募集（全日制と夜間以外の定時制対象）と定通分割選抜については、両方に同時に志願することができます。また、インクルーシブ教育実践推進校特別募集の二次募集と定通分割選抜についても、両方に同時に志願することができます。

志願時において、令和5年度国・公・私立高等学校（高等専門学校を含む。）または特別支援学校に合格している人（入学手続きをしていない場合も含む。）は志願できません。

なお、二次募集は欠員があった場合に、必要に応じて実施する募集です。

※ 連携募集、海外帰国生徒特別募集、在県外国人等特別募集、中途退学者募集および別科では、二次募集は実施しません。

| 共通選抜の二次募集 | | | |
|-------------------------------|---|---|-------------|
| 募集期間 | 志願変更 | 検査日 および 検査内容 | 合格発表 |
| 3/2 (木) ・ 3/3 (金) | 3/6 (月) ・ 3/7 (火) ※二次募集実施校間で1回に限り 志願変更できます。 | [学力検査] 3/9(木) ※ 面接を実施する場合があります。 [面接] 3/9(木) [学力検査] 3/9(木) ※ 面接を実施する場合があります。 | 3/15 (水) |

定通分割選抜の二次募集

| 募集期間 | 志願変更 | 検査日 および 検査内容 | 合格発表 |
|--|--|---|-------------|
| 3/22 (水) ・ 3/23 (木) ※定時制と通信制を同時に 志願はできません。 | 3/24 (金) ※定時制と通信制の間でも 志願変更できます。 | [面接] 3/27 (月) [面接] または [作文] 3/27 (月) | 3/29 (水) |

| 定通分割選抜 | | | |
|--|--|--|-------------|
| 3/2 (木) ・ 3/3 (金) ※定時制と通信制を同時に 志願はできません。 | 3/6 (月) ・ 3/7 (火) ※定時制と通信制の間でも 志願変更できます。 | [学力検査] 3/10(金) [面接]および[特色検査] 3/10(金)、13(月) ※ この日程の中から各高等学校が検査日を指定します。 [面接]または[作文] 3/10(金)、13(月) ※ この日程の中から各高等学校が検査日を指定します。 | 3/17 (金) |

県立神奈川総合高等学校【後期募集】 海外帰国生徒特別募集を実施します。

| | | | | | |
|-------------------------|---|----------------------|---|----------------|---------------|
| 募集期間 7/24(月)～7/26(水) | ➡ | 検査日 学力検査等：7/28(金) | ➡ | 合格発表 8/2(水) | ※ 一般募集は行いません。 |
|-------------------------|---|----------------------|---|----------------|---------------|

5 入学者選抜について 基本事項Q & A

全日制の高等学校の志願資格は？

- Q 神奈川県内の公立高等学校の全日制の課程に志願するにはどのような条件があるのですか？
- A 平成20年4月1日以前に出生し、令和5年3月31日までに中学校を卒業または卒業見込みの人（これに準ずると認められた人を含みます。）で、志願者とその保護者が神奈川県内に住んでいる場合（令和5年4月1日までに神奈川県内に志願者とその保護者が転居見込み等で神奈川県教育委員会教育長の承認を受けた場合を含む。）に志願できます。

定時制または通信制の志願資格は？

- Q 神奈川県内の公立高等学校の定時制の課程または通信制の課程に志願するにはどのような条件があるのですか？
- A 平成20年4月1日以前に出生し、令和5年3月31日までに中学校を卒業または卒業見込みの人（これに準ずると認められた人を含みます。）で、志願者が神奈川県内に住んでいるか勤務地が神奈川県内にある場合（令和5年4月1日までに神奈川県内に志願者が転居するか勤務地が神奈川県内になる見込み等で神奈川県教育委員会教育長の承認を受けた場合を含む。）に志願できます。
- ただし、定通分割選抜には、志願時において、令和5年度国・公・私立高等学校（高等専門学校を含む。）または特別支援学校に合格している人（入学手続きをしていない場合も含む。）は志願できません。

学区はあるの？

- Q 神奈川県内に住んでいれば、どの公立高等学校へも志願できるのですか？
- A 県立の高等学校と横須賀市立の高等学校には学区はなく、県内のどこからでも志願できます。横浜市立および川崎市立の高等学校については、原則としてそれぞれの市内を学区とします。ただし、横浜市立の高等学校においては、横浜商業高等学校（別科を含む全学科）、戸塚高等学校単位制普通科音楽コース（全日制）、横浜サイエンスフロンティア高等学校および戸塚高等学校（定時制）は学区がありません。川崎市立の高等学校においては、全日制・定時制とも専門学科の高等学校は学区がありません。また、横浜市立および川崎市立の高等学校の特別募集においても学区はありません。
- なお、学区がある高等学校においても、学区外から入学できる人数の制限はありますが、学区外からの志願も可能です。

共通選抜とは？

- Q 「共通選抜」とは、どのような選抜ですか？
- A すべての公立高等学校のすべての課程で実施し、学力検査（原則、全日制では5教科、定時制では3教科）および面接を「共通の検査」として実施します。また、各校の特色に応じて、総合的な能力や特性をみる検査として「特色検査」を実施する高等学校があります。
- 実施したすべての検査の結果と調査書の評定を資料とし、各校の特性や受検者の個性を生かせるよう、各校がそれぞれの取扱い比率を設定し、算出した数値により選考します。
- なお、クリエイティブスクールと通信制の課程では学力検査は実施せず、クリエイティブスクールでは面接および特色検査（自己表現検査）を、通信制の課程では面接または作文を実施し、調査書と併せて総合的に選考します。
- また、全日制と夜間以外の定時制の課程では募集定員のすべてを募集し、夜間の定時制と通信制の課程では募集定員の80%を募集します。

定通分割選抜とは？

- Q 「定通分割選抜」とは、どのような選抜ですか？
- A 「定通分割選抜」は、共通選抜の後に夜間の定時制と通信制の課程で実施する選抜です。
- 定時制の課程は、共通選抜と同様、学力検査（3教科（英国数））および面接を実施し、特色検査を実施する場合もあります。実施したすべての検査の結果と調査書の評定を資料とし、各校が設定した比率により算出した数値を用いて選考します。通信制の課程は、面接または作文を実施し、調査書と併せて総合的に選考します。
- なお、募集人員は募集定員から共通選抜の募集人員を差し引いた人員ですが、共通選抜の募集人員を満たしていない場合は、その人員も加えて募集します。また、定通分割選抜および定通分割選抜の二次募集において、定時制と通信制の課程を同時に志願することはできません。

連携型中高一貫教育校連携募集とは？

Q 「連携型中高一貫教育校連携募集」とは、どのような募集ですか？

A 県立愛川高等学校において愛川町立の3中学校と、県立光陵高等学校において横浜国立大学教育学部附属横浜中学校と、それぞれ連携型中高一貫教育を実施するために募集するものです。

共通選抜と同日程で実施し、それぞれの連携型中学校長から推薦を受けた志願者の中から選考します。

調査書とは？

Q 「調査書」とは、どのようなものですか？

A 中学校が作成する書類で、学習の記録と中学校での活動等の記録が記載されています。具体的には、「調査書の見本」(11ページ)を参照してください。

学習の記録の欄に記載されている2、3年生の評定については、選考の際に資料として使用します。諸活動の記録や所見欄等に記載されている内容については、面接の際の参考資料とします。

選考基準とは？

Q 「選考基準」とは、どのようなものですか？

A 各高等学校が各校の特色を踏まえ、実施する検査、選考の際のそれぞれの資料の扱い方および面接等の評価の観点を示したものです。

全公立高等学校の「選考基準」は、この冊子の14ページ以降に掲載しています。また、下記の神奈川県教育委員会のホームページでも公開しています。

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/senko_kijun.html

重点化とは？

Q 調査書と学力検査の重点化とは、どのようなことですか？

A 例えば「中学校での英語の評定を2倍」、「学力検査の英語の得点を1.5倍」などのように、特定の教科の中学校の評定や学力検査の得点に対して、2倍までの範囲で重みをおくことです。

調査書の評定は、各教科の〔(第2学年の評定) + (第3学年の評定) × 2〕の数値を3教科まで重点化でき、学力検査の結果は2教科まで重点化することができます。

※ 重点化の内容は、14ページ以降の「選考基準」に掲載しています。

学力検査は？

Q 学力検査はすべての学校で同じ問題ですか？

A 全日制の課程と定時制の課程では異なる問題で実施します。

全日制では、5教科ともすべての学校が同じ問題で実施します。

定時制では、実施する3教科(英国数)についてすべての学校が同じ問題で実施します。

Q 出題の範囲や内容はどうなっていますか？

A 出題の範囲は、中学校学習指導要領に定める各教科の内容です。

「基礎的・基本的な知識及び技能」と、それらを活用して課題解決を図っていくための「思考力、判断力、表現力その他の能力」を中心に把握します。

Q 各教科の満点や検査時間はどうなっていますか？

A 共通選抜は、全日制・定時制とも、各教科の満点は100点、検査時間は50分です。なお、定通分割選抜では、各教科の満点は50点、検査時間は30分です。

Q これまでの検査問題を見ることはできますか？

A これまでの問題は、全日制・定時制とも県政情報センター行政資料コーナー(Tel (045)210-3730)で見ることができます。有料となりますが、コピーをとることもできます。また、下記の神奈川県教育委員会のホームページでも公開しています。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/gakuryokukensa/mondai.html>

特色検査とは？

Q 「特色検査」とは、どのような検査ですか？

A 高等学校が共通の検査以外に各校の特色に応じて実施することができる検査で、学力検査や面接では測ることのできない総合的な能力や特性をみる検査です。その結果は選考資料の一部として活用されます。

Q どのような検査がありますか？

A 特色検査は、実技検査と自己表現検査があり、次のような内容となります。

実技検査 与えられた題材のデッサン、スポーツ種目の技能検査、楽器の演奏など、それぞれの高等学校の特色に応じた内容となります。

自己表現検査 与えられたテーマに基づくスピーチによる発表、指定したテーマについてのグループ討論、中学校までの学習を教科横断的に活用して設問に対する答えや考えの記述など、それぞれの高等学校で設定した内容となります。

※ 各校の検査の概要は、30・31ページに掲載しています。

特色検査における共通問題の実施校は？

Q 「特色検査」の自己表現検査を共通問題と共通選択問題で実施する学校はどこですか？

A 学力向上進学重点校5校（県立横浜翠嵐高等学校、県立川和高等学校、県立柏陽高等学校、県立湘南高等学校および県立厚木高等学校）および学力向上進学重点校エントリー校13校（県立希望ヶ丘高等学校、県立横浜平沼高等学校、県立光陵高等学校、県立横浜国際高等学校、県立横浜緑ヶ丘高等学校、県立多摩高等学校、県立横須賀高等学校、県立鎌倉高等学校、県立茅ヶ崎北陵高等学校、県立平塚江南高等学校、県立小田原高等学校、県立大和高等学校および県立相模原高等学校）のあわせて18校で実施される自己表現検査は、共通問題と共通選択問題を用いて実施します。

追検査とは？

Q 「追検査」とは、どのような検査ですか？

A 追検査とは、インフルエンザの罹患等、やむを得ない事情により一般募集（共通選抜(クリエイティブスクールを除く。))、特別募集（インクルーシブ教育実践推進校特別募集を除く。）、中途退学者募集および別科において、学力検査又は作文（定時制の課程において、作文をもって学力検査に代える場合に限る。）を受検できなかった志願者並びに一般募集（共通選抜(クリエイティブスクール)）、連携型中高一貫教育校連携募集（県立光陵高等学校を除く。）およびインクルーシブ教育実践推進校特別募集において面接を受検できなかった志願者の中で、追検査を希望する者を対象として実施する検査です。

Q 面接や特色検査の追検査は、実施するのですか？

A 一般募集（共通選抜(クリエイティブスクール)）、連携型中高一貫教育校連携募集（県立光陵高等学校を除く。）およびインクルーシブ教育実践推進校特別募集における面接のみ実施します。

第2希望まで志願できますか？

Q 第2希望まで志願できるのは、どのようなときですか？

A 農業、工業、商業および水産に関する学科を置く高等学校の専門学科を志願するとき、同じ高等学校に設置された同じ課程の別の学科を第2希望として志願できます。（ただし、同じ『〇〇に関する学科』の中の学科に限ります。）

また、横浜市立戸塚高等学校において、同じ学科の別のコースを第2希望として志願できます。横浜市立横浜商業高等学校の別科も同様に第2希望の志願ができます。

県立横浜明朋高等学校と県立相模向陽館高等学校、横浜市立横浜総合高等学校の定時制の課程では、同じ学科の別の部を第2希望として志願できます。県立横浜明朋高等学校および県立相模向陽館高等学校の在県外国人等特別募集においても、同じ学科の別の部を第2希望として志願できます。県立横浜国際高等学校において、国際科（国際バカロレアコースを除く。）および国際科国際バカロレアコースのそれぞれについて他のコース等を第2希望として志願できます。

特別な事情のある人は？

(日本語を母語としない人、障害等のある人、長期間欠席した人など)

- Q 受検にあたって特別な事情がある人への配慮はありますか？
- A 日本語を母語としていない人や障害等により通常の受検が困難な人は、受検方法について申請することができます。
- また、病気など特別な理由で中学校を長期間欠席した人は、選抜方法の取扱いについて申請することができます。
- いずれの場合も、申請できる内容や申請するための条件があります。中学校の先生等とよく相談して申請内容について確認してください。

公立と私立・国立の高等学校等との併願については？

- Q 公立と私立・国立の高等学校等とを併願する(私立のオープン入試を含む。)場合に、注意することはありますか？
- A 公立高等学校は合格発表後の追加合格を行わないため、公立高等学校の合格発表の前に、入学を希望する私立や国立の高等学校等の合格が決まった場合は、公立の合格発表の前日正午までに、必ず志願(受検)した公立高等学校の志願取消の手续をしてください。
- なお、定通分割選抜、共通選抜の二次募集、インクルーシブ教育実践推進校特別募集の二次募集、定通分割選抜の二次募集については、志願時において、令和5年度国・公・私立高等学校(高等専門学校を含む。)または特別支援学校に合格している人(入学手続きをしていない場合も含む。)は志願できません。

県立横浜国際高等学校の募集については？

- Q 県立横浜国際高等学校の募集は、どのような募集ですか？
- A 共通選抜および海外帰国生徒特別募集において、「国際科(国際バカロレアコースを除く。)」(以下、「国際科」という。)と「国際科国際バカロレアコース」の募集を実施します。
- Q 「国際科」および「国際科国際バカロレアコース」を志願する際に、もう一方を第2希望とすることはできますか？
- A 「国際科」および「国際科国際バカロレアコース」のどちらかを第1希望または第2希望として志願することができます。
- Q 「国際科」と「国際科国際バカロレアコース」では検査内容が異なりますか？
- A 一般募集において、「国際科」と「国際科国際バカロレアコース」はどちらも共通する学力検査および面接を受けます。また、どちらも特色検査(自己表現検査)*を受けますが、「国際科国際バカロレアコース」の特色検査は、自分の考えを150~200語程度の英語で記述する問題を含みます。海外帰国生徒特別募集において、「国際科国際バカロレアコース」を第1希望とする受検者は、「国際科」と共通する学力検査(英国数)、作文、面接に加え、特色検査(自己表現検査)*を受けます。

※ 詳細は、30ページの「特色検査の概要」を参照してください。

インクルーシブ教育実践推進校特別募集とは？

- Q 「インクルーシブ教育実践推進校特別募集」とは、どのような募集ですか？
- A 神奈川県におけるインクルーシブ教育を推進するため、インクルーシブ教育実践推進校に指定された14校において、神奈川県内の中学校等に在籍する知的障害のある生徒を対象として実施するものです。志願にあたっては、インクルーシブ教育実践推進校が実施する中高連携事業(学校説明・授業見学)などへの参加が必要です。また、検査については、共通選抜と同日程で行い、面接を実施します。
- Q 通学地域はどうなっていますか？
- A 令和5年度入学者選抜より志願に係る通学地域の要件は撤廃され、県内のどこからでも志願できるようになりました。

6 調査書の見本

中学校での学習の成果が記載されます。

調査書には、中学校第3学年の12月末までの内容が記載されます。

中学校での様々な活動の状況や成果が記載されます。

第11号様式

様式見本

調査書

※ 受検番号

| | | | | | | |
|-------------|---------------|------------------------------|-------------|----------------------------------|-------------------------------------|--|
| 志願先 高等学校 | ○○○○ | 立 | ○○○ | 高等学校 | | |
| | ○○ | 科 | | (コース・部) | | |
| 学籍の記録 | フリガナ | ○○○○ | 性別 | 入学年月 | | |
| | 氏名 | ○○ ○○ | ○ | 平成・令和 ○ 年 4 月 ○○○○ 第 学年 | | |
| | 生年月日 | 平成 ○○ 年 ○ 月 ○ 日生 | | 平成・令和 年 月 第 学年 転入学 | | |
| | 現住所 | ○○市○○町 ○○丁目○番○号 ○○マンション○○ | | 令和 ○ 年 3 月 同 中学校 ○○○○ 卒業見込・卒業 | | |
| 各教科の学習の記録 | | | | 総合的な学習の時間の記録 | | |
| | 観点別学習状況 | 2年 評価 評定 | 3年 評価 評定 | 学年 | 学習活動の内容 | 活動状況及び所見 |
| 国語 | 知識・技能 | A | B | 2 年 | 身近な環境問題について考える。 | 身近な環境問題として、プラスチックごみによる海洋汚染の現状とそれが生体に与える影響について調べ、その結果をまとめた。 |
| | 思考・判断・表現 | B | B | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | A | B | | | |
| 社会 | 知識・技能 | B | A | 3 年 | 地域に住む様々な国の人々を知る。 | 地域に住む外国人の人々へのインタビューをもとに、それぞれの国の文化や、日本で暮らして感じていること等をまとめ、発表した。 |
| | 思考・判断・表現 | B | B | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | B | A | | | |
| 数学 | 知識・技能 | B | B | 2 | 12月月末までの第3学年の各教科の総合的な評価が5段階で記入されます。 | 総合的な学習の時間での具体的な活動内容が記入されます。 |
| | 思考・判断・表現 | B | B | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | B | B | | | |
| 理科 | 知識・技能 | A | A | 4 | 各教科の観点別学習状況の評価が3段階で記入されます。 | 総合的な学習の時間での具体的な活動内容が記入されます。 |
| | 思考・判断・表現 | B | A | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | A | A | | | |
| 音楽 | 知識・技能 | B | B | 3 | 12月月末までの第3学年の各教科の総合的な評価が5段階で記入されます。 | 総合的な学習の時間での具体的な活動内容が記入されます。 |
| | 思考・判断・表現 | B | A | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | B | A | | | |
| 美術 | 知識・技能 | B | B | 4 | 12月月末までの第3学年の各教科の総合的な評価が5段階で記入されます。 | 総合的な学習の時間での具体的な活動内容が記入されます。 |
| | 思考・判断・表現 | A | A | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | A | A | | | |
| 保健体育 | 知識・技能 | A | A | 5 | 12月月末までの第3学年の各教科の総合的な評価が5段階で記入されます。 | 総合的な学習の時間での具体的な活動内容が記入されます。 |
| | 思考・判断・表現 | A | A | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | A | A | | | |
| 家庭・芸術 | 知識・技能 | A | A | 5 | 12月月末までの第3学年の各教科の総合的な評価が5段階で記入されます。 | 総合的な学習の時間での具体的な活動内容が記入されます。 |
| | 思考・判断・表現 | A | A | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | A | A | | | |
| (外国語) | 知識・技能 | A | A | 4 | 12月月末までの第3学年の各教科の総合的な評価が5段階で記入されます。 | 総合的な学習の時間での具体的な活動内容が記入されます。 |
| | 思考・判断・表現 | B | B | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | A | A | | | |
| 小計 ※ | | | (×2.0) | | | |
| | | | | 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 | 中学校名 ○○○○ 中学校 | |
| | | | | | 校長氏名 ○○ ○○ | |
| | | | | | 記者氏名 △△ △△ | |

◇ 2年生、3年生のときの評定が5段階の目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）であれば、私立中学校または県外の中学校出身であっても、神奈川県内の公立中学校出身者の評定と同等に扱われます。

7 面接シートの見本

面接シートは「入学を希望する理由」、「中学校での様々な活動に対する意欲」、「自分のよいところ」などを自分で書いて提出するものです。これは面接の際の参考資料として使うもので、書いてある内容について評価は行いません。

共通選抜、定通分割選抜ともに提出が必要です。
※ ただし、通信制の課程においては提出不要です。

第14号様式

様式見本

面接シート

※受検番号

| | | | | |
|-------|--------|------|---|------|
| 志願者氏名 | フリガナ | 中学校名 | 立 | 中学校 |
| 志願先 | (県・市)立 | 高等学校 | 科 | コース部 |

◎ 面接の質問内容の参考とするため、次のことについて記入してください。2、3については、取組み内容も含めて記入してください。

◎ このシートは面接の際の参考資料で、直接に選考資料にはしません。

1 なぜこの学校に入学したいのですか。

ここには、あなたが志願する高等学校に入学したいと思っている理由や、入学後の高校生活の中で自分の興味・関心や意欲を生かしてどのようなことに取り組んでいきたいかなどについて記入してください。

2 中学校での教科等の学習活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。

ここには、あなたが中学校の学習で力を入れて取り組んだことや興味・関心をもったことなどについてどのように意欲的に取り組んだか記入してください。

3 中学生のときに教科等以外の活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。
(学校外の取組みでも構いません。)

ここには、中学生の時に所属していた部活動や委員会などの活動、ボランティア活動など学校外の取組みなどについてどのように意欲的に取り組んだか記入してください。

4 自分自身のよいところはどのようなところだと考えていますか。

ここには、面接の際に参考となるよう、「自分にはこのようなよい面がある」というあなた自身の特徴や長所について記入してください。

【記入上の注意】 1 ※の欄は記入しないこと。
2 枠内に自筆で記入すること。鉛筆書きも可。写真等は貼り付けないこと。

志願時に、面接シートだけでなく、「学校独自の様式による提出用紙」を提出する高等学校もあります。
30・31ページの「特色検査の概要」で、必ず確認してください。

県立相模向陽館高等学校では、「課題レポート」を提出します。面接シートの代わりに、

8 選考基準の見方

【各選考における資料の取扱い比率と重点化する教科の内容を記載しています。】

- 各資料の比率
 - ・ 学習の記録(評定)、学力検査の結果、面接の結果、特色検査の結果ごとに取り扱う比率を数値で表して記載しています。
 - ・ 特色検査を実施しない場合は、「-」と記載しています。
- 重点化
 - ・ 第1次選考では調査書と学力検査、第2次選考では学力検査のうち、一部の教科について重点化する学校があります。
 - ・ 重点化しない場合は、「-」と記載しています。

【必要に応じて実施する特色検査について記載しています。】

- ・ 特色検査は、「実技検査」または「自己表現検査」を実施します。
 - ・ 実施する場合は、「実技」または「自己表現」と記載しています。実施しない場合は、「-」と記載しています。
- ※ 神奈川県総合高等学校舞台芸術科においては、「実技検査」および「自己表現検査」を実施します。

【学力検査の実施教科を記載しています。】

- ・ 全日制では、原則5教科(英国数理社)を、1教科50分・100点満点で実施しますが、特色検査を実施する場合は、3教科にまで教科数を減らす学校があります。
- ・ 定時制では、原則3教科(英国数)を、1教科50分・100点満点で実施します。
- ・ 「定通分割選抜」では、原則3教科を1教科30分・50点満点で実施します。

数値の扱いはこちら

学習の記録：第2学年の9教科の評定合計+第3学年の9教科の評定合計の2倍(135点満点)を100点満点に換算します。(a)
 ・ 教科ごとの「第2学年の評定+第3学年の評定の2倍」の点数を2倍まで重点化する学校があります。
 [3教科まで]

学力検査：実施した検査の合計点を100点満点に換算します。(b)
 ・ 教科の得点を2倍まで重点化する学校があります。[2教科まで]

面接：観点ごとの点数を合計し、100点満点に換算します。(c)
 特色検査：観点ごとに評価し、100点満点に換算します。(d)
 次の式により合計数値S1(S2)を算出し、選考資料とします。
 【第1次選考】 ※ 募集人員の90%までを選択します。「資料の整わない者」については、参考にてざる資料を活用して選考します。
 $S1 = (a) \times f + (b) \times g + (c) \times h$ [+(d) \times i]
 f, g, h, i は学校ごとに設定します。(f, g, h はそれぞれ2以上で合計10となる整数、i は1以上5以下の整数)
 【第2次選考】
 $S2 = (b) \times g + (c) \times h$ [+(d) \times i]
 g, h, i は学校ごとに設定します。(g, h はそれぞれ2以上で合計10となる整数、i は1以上5以下の整数と、第1次選考とは異なります。)

「学習の記録(評定)」の比率を f、
 「学力検査」の比率を g、
 「面接」の比率を h、
 「特色検査」の比率を i とします。

「共通選抜の数値の算出」

【面接における各校共通の評価の観点】

- ・ 入学希望の理由
- ・ 中学校での教科等に対する学習意欲
- ・ 中学3年間の教科等以外の活動に対する意欲

※ ■、▲については、同じ記号がついている観点を合わせてひとつの観点とします。なお、合わせた観点の場合、質問も総合的な内容になる場合があります。

| 学校名 | 第1次選考 | | | 第2次選考 | | | 面接の評価の観点(学校ごとの観点) | | | | | その他の観点の内容 | |
|--------------------------|-------|----|------|-------|------------------|------|-------------------|-------|-----------|-------|-----------------------|-----------|---------------------------|
| | 学力検査 | 面接 | 特色検査 | 学力検査 | 面接 | 特色検査 | 面接の態度 | 将来の展望 | 学校・教科・科目等 | 特色理解等 | 高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲 | | |
| 〇〇 普通科 | 3 | 4 | 3 | - | 5 | 5 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 受検者の長所・特性 |
| 〇〇 普通科 | 3 | 5 | 2 | 3 | 8 | 2 | 3 | ○ | ■ | ■ | ○ | ○ | 本校の特色を生かし、個性や才能を伸ばそうとする意欲 |
| 全日制 専門学科(〇〇に関する学科) | 4 | 4 | 2 | - | [学] 数, 理(×1.2) | 5 | 5 | - | ■ | ■ | ▲ | ○ | |
| 〇〇 〇〇科 | 4 | 3 | 3 | - | [調] 英, 国(×1.5) | 6 | 4 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | 本校の特色を生かし、個性や才能を伸ばそうとする意欲 |
| 単位制による全日制 普通科(専門コースを除く) | 4 | 3 | 3 | - | [学] 点数の高い1教科(×2) | 6 | 4 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | 本校の特色を生かし、個性や才能を伸ばそうとする意欲 |
| 〇〇 単位制普通科 | 3 | 5 | 2 | - | [学] 点数の高い2教科(×2) | 6 | 4 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | 本校の特色を生かし、個性や才能を伸ばそうとする意欲 |
| 〇〇 総合学科 | 3 | 5 | 2 | - | [学] 点数の高い2教科(×2) | 6 | 4 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | 本校の特色を生かし、個性や才能を伸ばそうとする意欲 |
| 〇〇 総合学科 | 4 | 3 | 3 | 5 | [調] 音(×2) | 2 | 8 | 5 | - | ○ | ○ | ○ | |
| 単位制による全日制 専門学科(〇〇に関する学科) | 4 | 3 | 3 | 5 | [調] 音(×2) | 2 | 8 | 5 | - | ○ | ○ | ○ | |

特別な設置趣旨の高校・通信制の高校

- ◇ クリエイティブスクール(県立田奈高校、県立益利谷高校、県立益須賀南高校の普通科、県立大井高校、県立大和東高校)では、学力検査は実施しません。また、調査書の「評定」は取り扱わず、「観点別学習状況」を活用し、実施した検査の結果と合わせて総合的に選考します。なお、面接における共通の観点はなく、観点はすべて「面接の評価の観点」欄に記載されます。(提出書類「欄」に入学願書とともに提出する書類が記載されています。)
- ◇ 横浜国際高等学校では、国際科(国際/Vカロリアコースを除く。)および国際科国際/Vカロリアコースにおいて「共通選抜の数値の算出」の選考方法は異なる選考を行います。
- ◇ フロンティアスクール(県立横浜明朋高校、県立相模向陽館高校)においては、実施した検査(学力検査、面接)の結果および調査書の「観点別学習状況」を資料として活用し、総合的に選考します。
- ◇ 通信制の課程では、調査書および作文の結果を資料として活用し、総合的に選考します。

9 神奈川県公立高等学校入学者選抜選考基準

【共通選抜(全日制)】

全日制 普通科(クリエイティブスクールを除く。)

【面接における各校共通の選考の観点】
 ・入学希望の理由
 ・中学校での教科等に対する学習意欲
 ・中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲

※ ■ ▲については、同じ記号がついている観点を合わせてひとつの観点とします。なお、合わせた観点の場合、質問も総合的な内容になる場合があります。

| 学校名 | 学科名等 | 学力検査 | 特色検査 | 第1次選考 | | | 第2次選考 | | | 面接の評価の観点(学校ごとの観点) | | | | | |
|----------|------|-------|------|---------------------------------|------------------|-------------------------------------|------------------|------------------|---------------------|---|---|----------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------|
| | | | | 比率 | | 重点化 〔調〕は調査書 〔学〕は学力検査 | 比率 | | 重点化 〔学力検査 のみ〕 | 高 等 学 校 に 対 し て の 教 科 目 等 | 高 等 学 校 に 対 し て の 教 科 目 等 以外 | 学 科 の 特 性 等 | 学 科 の 展 望 | 面 接 の 態 度 | その他の観点の内容 |
| | | | | 学 習 の 記 録 評 定 | 学 力 検 査 | | 学 力 検 査 | 学 力 検 査 | | | | | | | |
| 鶴見 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 7 3 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 横浜翠嵐 | 普通科 | 英国数理社 | 自己表現 | 2 6 2 2 | — | — | 8 2 | 2 | — | — | — | — | — | — | — |
| 成郷 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 港北 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 新羽 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 岸根 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 鶴が丘 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 白山 | 普通科 | 英国数理社 | — | 5 3 2 | — | — | 7 3 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 市ヶ尾 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | 〔調〕音美(英・技・家)のうち 点数の高い1教科(×2) | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 元石川 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 川和 | 普通科 | 英国数理社 | 自己表現 | 4 4 2 1 | — | — | 7 3 | 1 | — | — | — | — | — | — | — |
| 荏田 | 普通科 | 英国数理社 | — | 5 3 2 | — | — | 4 6 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 新栄 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 希望ヶ丘 | 普通科 | 英国数理社 | 自己表現 | 3 5 2 1 | — | — | 8 2 | 1 | — | — | — | — | — | — | — |
| 旭 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 7 3 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 松陽 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 瀬谷・瀬谷西*1 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 横浜平沼 | 普通科 | 英国数理社 | 自己表現 | 4 4 2 2 | — | — | 8 2 | 2 | — | — | — | — | — | — | — |
| 光陵 | 普通科 | 英国数理社 | 自己表現 | 3 5 2 1 | — | — | 8 2 | 1 | — | — | — | — | — | — | — |
| 保土ヶ谷 | 普通科 | 英国数理社 | — | 5 3 2 | — | — | 7 3 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 舞岡 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 6 4 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 上六部 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 7 3 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 金井 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 横浜南陵 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 永谷 | 普通科 | 英国数理社 | — | 5 3 2 | — | — | 7 3 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 相陽 | 普通科 | 英国数理社 | 自己表現 | 3 5 2 2 | — | — | 8 2 | 2 | — | — | — | — | — | — | — |
| 横浜緑ヶ丘 | 普通科 | 英国数理社 | 自己表現 | 3 5 2 2 | — | — | 8 2 | 2 | — | — | — | — | — | — | — |
| 横浜水取沢 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 横浜立野 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 横浜永取沢 | 普通科 | 英国数理社 | — | 3 5 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 横浜市立桜丘 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 横浜市立南 | 普通科 | 英国数理社 | — | 3 5 2 | — | 〔調〕英(×2) | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 横浜市立金沢 | 普通科 | 英国数理社 | — | 3 5 2 | — | 〔学〕英(×1.5) | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 新坂 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | 〔学〕英(×1.5) 〔学〕英(×1.5) 数(×1.2) | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 住吉 | 普通科 | 英国数理社 | — | 3 5 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 川崎北 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | 〔調〕音美(英・技・家)のうち 点数の高い1教科(×2) | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 多摩 | 普通科 | 英国数理社 | 自己表現 | 3 5 2 2 | — | — | 8 2 | 2 | — | — | — | — | — | — | — |
| 生田 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 8 2 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 百合丘 | 普通科 | 英国数理社 | — | 4 4 2 | — | — | 7 3 | — | — | — | — | — | — | — | — |

*1 瀬谷高校・瀬谷高校の再編・統合校(横浜南西地域 普通科)

【調査における各校共通の評価の観点】
 ・入学希望の理由
 ・中学校での教科等に対する学習意欲
 ・中学3年間の教科等以外の活動に対する意欲

※ ▲については、同じ記号がついている観点を合
 わせてひとつの観点とします。なお、合わせた観
 点の場合、質問も総合的な内容になる場合があります。

| 学校名 | 専攻学科 (工業に関する学科) の続き | 学科名等 | 学力検査 | 特色検査 | 第1次選考 | | 第2次選考 | | 面接の評価の観点 (学校ごとの観点) | | | | | | |
|-------------------------|---------------------|---------------------|---------|-------|---|------------------|------------------|------------------|----------------------------|---------------------|---|---|---|------------------------------|---|
| | | | | | 比率 | | 比率 | | 重点化 〔調〕は調査書 〔学〕は学力検査 | 重点化 〔学力検査 のみ〕 | 英 語 の 活 動 に 対 し て の 意 欲 を 考 へ る 学 科 等 の 目 的 等 | 学 校 の 活 動 に 対 し て の 意 欲 を 考 へ る 学 科 等 の 目 的 等 | 未 来 の 展 望 | 面 接 の 態 度 | そ の 他 の 観 点 の 内 容 |
| | | | | | 学 習 意 欲 の 調 査 (評 定) | 学 力 検 査 | 学 力 検 査 | 学 力 検 査 | | | | | | | |
| 全日制 専門学科 (工業に関する学科) の続き | | 情報工学科 | 英国数理社 | - | 5 3 2 | - | - | 6 4 | - | ■ | ○ | ○ | | | |
| | | 総合電気科 | 英国数理社 | - | 5 3 2 | - | - | 6 4 | - | ■ | ○ | ○ | | | |
| | | 電子機械科 | 英国数理社 | - | 5 3 2 | - | - | 6 4 | - | ■ | ○ | ○ | | | |
| | | 建設工学科 | 英国数理社 | - | 5 3 2 | - | - | 6 4 | - | ■ | ○ | ○ | | | |
| | | デザイン科 | 英国数 | 実技 | 5 3 2 3 | [調] 美(×2) | 6 4 3 | - | ■ | ○ | ○ | | | | |
| 全日制 専門学科 (商業に関する学科) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全日制 専門学科 (水産に関する学科) | 海洋科学 | 総合ビジネス科 | 英国数理社 | - | 5 3 2 | - | - | 6 4 | - | ■ | ○ | ○ | | | |
| | | 平塚農商 | 英国数理社 | - | 5 3 2 | - | - | 7 3 | - | ■ | ○ | ○ | | | |
| | | 小田原東 | 英国数理社 | - | 4 4 2 | - | - | 8 2 | - | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | 相原 | 英国数理社 | - | 4 4 2 | - | - | 8 2 | - | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | 厚本商業 | 英国数理社 | - | 5 3 2 | - | - | 7 3 | - | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | 横浜市立 横浜商業 | 英国数理社 | - | 4 4 2 | - | - | 8 2 | - | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | マネジメント科 | 英国数理社 | 実技 | 4 4 2 3 | [調] 保体(×1.5) | 3 7 5 | - | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | | ビジネス教養科 | 英国数理社 | - | 4 4 2 | - | - | 6 4 | - | ■ | ○ | ○ | 部活動・生徒会活動に対する強い意欲と継続的に取り組む姿勢 | |
| | | 全日制 専門学科 (水産に関する学科) | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全日制 専門学科 (水産に関する学科) | | 船舶運航科 | 英国数理社 | - | 5 3 2 | - | - | 7 3 | - | ○ | ○ | ○ | |
| 水産食品科 | 英国数理社 | | | - | 5 3 2 | - | - | 7 3 | - | ○ | ○ | ○ | | | |
| 無線技術科 | 英国数理社 | | | - | 5 3 2 | - | - | 7 3 | - | ○ | ○ | ○ | | | |
| 生物環境科 | 英国数理社 | | | - | 5 3 2 | - | - | 7 3 | - | ○ | ○ | ○ | | | |
| 全日制 専門学科 (家庭に関する学科) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全日制 専門学科 (看護に関する学科) | 二俣川看護福祉 | 生活科学科 | 英国数理社 | - | 4 4 2 | - | [調] 技・家(×2) | 6 4 | - | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | 看護科 | 英国数理社 | - | 5 3 2 | - | - | 8 2 | - | ○ | ○ | ○ | 看護の心を身につけようとする意欲 | | |
| 全日制 専門学科 (福祉に関する学科) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全日制 専門学科 (福祉に関する学科) | 川崎市立 川崎総合科学 | 福祉科 | 英国数理社 | - | 5 3 2 | - | - | 8 2 | - | ○ | ○ | ○ | 福祉の心を身につけようとする意欲 | | |
| | | 横須賀南 | 英国数理社 | - | 4 4 2 | - | - | 8 2 | - | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | 津久井 | 英国数理社 | - | 5 3 2 | - | - | 7 3 | - | ■ | ▲ | ○ | | | |
| | | 川崎市立川崎 | 英国数理社 | - | 4 3 3 | - | [調] 国/保体(×1.5) | 4 6 | - | ○ | ○ | ○ | | | |
| 全日制 専門学科 (理数に関する学科) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全日制 専門学科 (理数に関する学科) | 川崎市立 川崎総合科学 | 科学科 | 英国数理社 | - | 4 4 2 | - | [学] 数,理(×1.5) | 7 3 | - | ■ | ○ | ○ | | | |
| | | スポーツ科学科 | 英国数理社 | 実技 | 4 4 2 4 | - | - | 8 2 4 | - | ○ | ○ | ○ | スポーツに関する意欲や興味・関心 | | |
| 全日制 専門学科 (体育に関する学科) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全日制 専門学科 (体育に関する学科) | 川崎市立 川崎総合科学 | スポーツ科 | 英国数理社 | 実技 | 3 3 4 5 | - | - | 4 6 5 | - | ○ | ○ | ○ | 競技力の向上を中心に、学習活動・生徒会活動・部活動の何れにも、意欲的・継続的に取り組む姿勢 | | |
| | | 美術科 | 英国数 | 実技 | 4 4 2 3 | [調] 美(×2) | 7 3 5 | - | ■ | ○ | ○ | ○ | 美術への興味・関心と将来の希望 | | |

| 学校名 | 学科名等 | 実施する検査 | 選考方法 | 提出書類 | |
|------|------|--------------|---|---|-------|
| 田奈 | 普通科 | 面接 自己表現検査 | ①調査書における観点別学習状況の評価で、第2学年と第3学年の各教科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をA=4点、B=2点とし、合計する。(K1=72点満点) ②調査書における観点別学習状況の評価で、第2学年と第3学年の保健体育・芸術・美術・技術・家庭における「主体的に学習に取り組む態度」以外の評価をA=2点、B=1点として点数化し、その合計を2で割る。 (K2=16点満点) ③面接について、観点ごとに評価し、点数化する。(M=20点満点) ④自己表現検査について、観点ごとに評価し、点数化する。(T=20点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(128点満点)=K1+K2+M+T | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・これまでの活動に対する意欲 ・高校生活に対する意欲と積極性 ・面接への取組姿勢 自己表現検査の評価の観点 ・事前準備 ・協調性 ・自己理解力 ・意欲、取組姿勢 | 面接シート |
| 釜利谷 | 普通科 | 面接 自己表現検査 | ①調査書における観点別学習状況の評価で、第2学年の各教科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をA=2点、B=1点とし、第3学年の各教科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をA=4点、B=2点として点数化し合計する。(K=60点満点と換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=95点満点) ※面接シートは面接の際の参考資料で、直接に選考資料にはしません。 ③自己表現検査について、観点ごとに評価し点数化する。(T=15点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(100点満点)=K+M+T | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・学習・生活・部活動に対する意欲 ・物事に対して地道に努力をする姿勢 ・誠実な態度 自己表現検査の評価の観点 ・事前準備 ・取組姿勢 ・理解力 | 面接シート |
| 横須賀南 | 普通科 | 面接 自己表現検査 | ①調査書における観点別学習状況の評価で、第2学年の各教科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をA=5点、B=3点とし、第3学年の各教科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をA=10点、B=6点として点数化し合計する。(K=80点満点と換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=20点満点) ③自己表現検査について、観点ごとに評価し点数化する。(T=30点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(100点満点)=K+M+T | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・高校での学習活動、学校生活に対する積極性 ・面接の態度 自己表現検査の評価の観点 ・意欲、取組姿勢 ・協調性 ・思考力、判断力 | 面接シート |
| 大井 | 普通科 | 面接 自己表現検査 | ①調査書における観点別学習状況の評価で、第2学年の各教科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をA=10点、B=5点、C=1点とし、第3学年の各教科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をA=20点、B=10点、C=2点として点数化し合計する。(K=60点満点と換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=20点満点) ③自己表現検査について、観点ごとに評価し点数化する。(T=20点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(100点満点)=K+M+T | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・これまでの生活や活動に対する意欲と積極性 ・高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・面接の態度 自己表現検査の評価の観点 ・事前準備 ・理解力 ・取組姿勢 | 面接シート |
| 大和東 | 普通科 | 面接 自己表現検査 | ①調査書における観点別学習状況の評価で、第2学年の各教科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をA=4点、B=2点とし、第3学年の各教科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をA=8点、B=4点として点数化し合計する。(K=108点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=20点満点) ③自己表現検査について、観点ごとに評価し点数化する。(T=20点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(148点満点)=K+M+T | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・高校生活に対する意欲と積極性 ・これまでの活動に対する意欲 ・面接の態度 自己表現検査の評価の観点 ・事前準備 ・理解力 ・表現力 ・取組姿勢 | 面接シート |

単位制による定時制 普通科 (県立横濱兵明高等学校及び県立相模向陽館高等学校)

| 学校名 | 普通科 | | 学科名等 | | 学力検査 | 特色検査 | 選考方法 | | 提出書類 | |
|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|---|---|--|--|---|-------|
| | 単位制普通科 午前部 | 単位制普通科 午後部 | 単位制普通科 午前部 | 単位制普通科 午後部 | | | 面接の評価の観点 | 面接の評価の観点 | | |
| 横濱兵明 | 単位制普通科 午前部 | 単位制普通科 午後部 | 英国数 | — | ①調査書における観点別学習状況の評価で、第2学年の各教科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をA＝6点、B＝4点とし、第3学年の各教科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をA＝9点、B＝6点として点数化し合計する。(K＝135点満点) ②学力検査について、3教科の得点を合計する。(G＝30点満点に換算する。) ③面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M＝60点満点) 【第1次選考】 次の式から算出した数値をS1値とし、S1値の高い者から募集人員の90%まで総合的に選考する。 S1 (225点満点)＝K＋G＋M 【第2次選考】 次の式から算出した数値をS2値とし、S2値の高い者から募集人員まで総合的に選考する。 S2 (120点満点)＝G×2＋M | ①調査書における観点別学習状況の評価で、第2学年と第3学年の各教科の「主体的に学習に取り組む態度」の野原をA＝2点、B＝1点として点数化し合計する。(K＝20点満点に換算する。) ②学力検査について、3教科の得点を合計する。(G＝30点満点に換算する。) ③面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M＝60点満点) ④自己表現レポートは面接の際の参考資料で、直接に選考資料にはしません。 【第1段階の選考】 募集人員の30%まで 次の式から算出した数値をS1値とし、S1値の上位の者から合格者を決定する。 S1 (120点満点)＝K＋G＋M＋T 【第2段階の選考】 募集人員の30%まで 次の式から算出した数値をS2値とし、第1段階で合格となっていない者を対象に S2 (100点満点)＝G＋M＋T 【第3段階の選考】 残りの募集人員まで 次の式から算出した数値をS3値とし、第1段階及び第2段階で合格となっていない者を対象に S3値の上位の者から合格者を決定する。 S3 (70点満点)＝M＋T | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・これまでの学習活動の取組を踏まえた高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・これまでの学習活動以外の取組を踏まえた高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲 ・ルール・マナーを守る意識 ・面接の態度 | 面接の評価の観点 ・事前準備等の努力 ・入学希望の理由 ・高校生活に対する意欲 ・面接の態度 | 自己表現検査の評価の観点 ・学校の特色等の理解 ・伝達・表現する力 | 面接シート |
| 相模向陽館 | 単位制普通科 午前部 | 単位制普通科 午後部 | 英国数 | 自己表現 | ①調査書と資料とし、W値の高い者から総合的に選考する。 【選考】 調査書を資料とし、W値の高い者から総合的に選考する。 | ①調査書について (第2学年の9教科の評定の合計)＋(第3学年の9教科の評定の合計)で点数化する。(H＝20点満点に換算する。) ②作文について 観点ごとに評価し点数化する。(W＝80点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S (100点満点)＝H＋W | 面接の評価の観点 ・学校の特色等の理解 ・伝達・表現する力 | 課題レポート | | |

【共通選抜(通信制)】

単位制による通信制 普通科

| 学校名 | 普通科 | | 学科名等 | 実施する検査 | 選考方法 | 評価の観点 | 検査の概要 | 提出書類 |
|-------|--------|--------|------|----------------------------------|---|--|--|------|
| 横浜修徳館 | 単位制普通科 | 単位制普通科 | 作文 | 作文 調査書と資料とし、W値の高い者から総合的に選考する。 | 作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W＝24点満点) 【選考】 調査書を資料とし、W値の高い者から総合的に選考する。 | ・本校の特性の理解 … (ア) ・高校生活に対する意欲 … (イ) ・作文に取り組む姿勢・態度 | ○ 検査日当日に提示された2題について、評価の観点(ア、イ)に基づき記述する。 ・検査時間は30分とする。 | なし |
| 厚木清南 | 単位制普通科 | 単位制普通科 | 作文 | 作文 調査書と資料とし、W値の高い者から総合的に選考する。 | ①調査書について (第2学年の9教科の評定の合計)＋(第3学年の9教科の評定の合計)で点数化する。(H＝20点満点に換算する。) ②作文について 観点ごとに評価し点数化する。(W＝80点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S (100点満点)＝H＋W | ・入学希望の理由 … (ア) ・本校通信制に対する理解 … (イ) ・高校生活に対する意欲 … (ウ) ・将来の展望 … (エ) ・作文に取り組む姿勢・態度 | ○ 評価の観点(ア～エ)について、それぞれ記述する。 ・検査時間は40分とする。 | なし |

【連携募集】

| 学校名 | 学科名等 | 実施する検査 | 選考方法 | 提出書類 | |
|-----|------|-----------------|--|--|----------------------|
| 光陵 | 普通科 | 面接 プレゼンテーション | ①課題レポートについては、観点ごとに評価し点数化する。(R=5点満点) ②面接については、観点ごとに点数化し合計する。(M=10点満点) ③プレゼンテーション(※)については、観点ごとに評価し点数化する。(P=15点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S (30点満点) = R + M + P ※プレゼンテーションについては、 ○プレゼンテーションの内容はTOFYLの成果を踏まえたものとし、6分以内で発表する。 ○プレゼンテーションの裏板に機軸等の資料を貼って発表することもできる。 ただし、コンピュータ等の電子機器を用いることはできない。 ・成果物については、自分で持ってこられるようならぬものであれば使用できる。 ○面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=60点満点) 【選考】 M値の高い者から総合的に選考する。 | 課題レポートの評価の観点 ・表現力 ・理解力 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・中学校での教科等に対する学習意欲 ・中学3年間の教科・科目等に対する学習意欲 ・高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲 ・高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲 ・課題を設定する力 ・課題を解決する力 ・適切に表現する力 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・中学校における活動に対する意欲と積極性 ・高校生活に対する意欲と積極性 ・面接の態度 | 課題レポート (プログラムシート) |
| 愛川 | 普通科 | 面接 | ○面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=60点満点) 【選考】 M値の高い者から総合的に選考する。 | 連携募集用 面接シート | |

【海外帰国生徒特別募集】

| 学校名 | 学科名等 | 実施する検査 | 選考方法 | 提出書類 |
|--------|----------------------------|-----------------------|---|-------|
| 神奈川県総合 | 単位制普通科 国際バカロレアコース | 学力検査(英国数) 面接 作文 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=700点満点に換算する。) ②面接については、観点ごとに点数化し合計する。(M=20点満点) ③作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W=100点満点に換算する。) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S (1000点満点) = G + M + W ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G1=60点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=20点満点) ③作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W=20点満点) 【第1回目の選考】※選考対象は、単位制国際科(国際バカロレアコースを除く。)を第1希望とする者 次の式から算出した数値をS1値とし、S1値の高い者から募集人員の50%まで総合的に選考する。 S1 (1000点満点) = G1 + M + W ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G2=80点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=20点満点) ③作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W=20点満点) 【第2回目の選考】※選考対象は、単位制国際科(国際バカロレアコースを除く。)を第1希望とし、第1回目の選考において合格していない者及び単位制国際科国際バカロレアコースを第1希望とし、合格していない者の中で、単位制国際科(国際バカロレアコースを除く。)を第2希望とする者 次の式から算出した数値をS2値とし、S2値の高い者から募集人員まで総合的に選考する。 S2 (120点満点) = G2 + M + W | なし |
| 横浜国際 | 単位制国際科 (国際バカロレアコースを除く。) | 学力検査(英国数) 面接 作文 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=60点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=20点満点) ③作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W=20点満点) 【特色検査(自己表現検査)について、観点ごとに評価し点数化する。(T=30点満点に換算する。) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S (130点満点) = G + M + T + W なお、一般募集(共通選抜)における単位制国際科国際バカロレアコースにおいて、欠員を生じた場合は、その欠員分を加えて合格者を決定する。 | 面接シート |

| | | | | | |
|-------|--------|-----------------------|--|---|-------|
| 新 城 | 普通科 | 学力検査(英国教) 面接 作文 | <p>①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=30点満点) ③作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W=25点満点)</p> <p>【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S (355点満点) = G + M + W</p> | <p>面接の評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学希望の理由 ・中学校での教科等に対する学習意欲 ・中学3年間の教科等以外の活動に対する意欲 ・将来の展望(長所、自己アピール) ・自己の理解(長所、自己アピール) ・面接の態度 <p>作文の評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解力 ・表現力 | 面接シート |
| 西 湘 | 普通科 | 学力検査(英国教) 面接 作文 | <p>①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=50点満点) ③作文について、観点ごとに点数化する。(W=50点満点)</p> <p>【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S (400点満点) = G + M + W</p> | <p>面接の評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学希望の理由 ・将来の展望と高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・高校での教科・科目等以外に対する意欲 ・面接の態度 <p>作文の評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解力 ・表現力 | 面接シート |
| 鶴 嶺 | 普通科 | 学力検査(英国教) 面接 作文 | <p>①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=30点満点) ③作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W=30点満点)</p> <p>【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S (360点満点) = G + M + W</p> | <p>面接の評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外での活動に対する意欲 ・高校での学習や活動に対する意欲 <p>作文の評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解力 ・表現力 | なし |
| 相模原弥栄 | 単位制普通科 | 学力検査(英国教) 面接 作文 | <p>①調査書について (第2学年の9教科の評定の合計) + (第3学年の9教科の評定の合計) × 2 で点数化する。(H=135点満点) ②学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=150点満点)に換算する。 ③面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=10点満点) ④作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W=50点満点)</p> <p>【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S (345点満点) = H + G + M + W</p> | <p>面接の評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学希望の理由 ・高校生活に対する意欲と積極性 ・将来の展望 <p>作文の評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解力 ・表現力 | 面接シート |
| 伊 志 田 | 普通科 | 学力検査(英国教) 面接 作文 | <p>①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=100点満点) ③作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W=100点満点)</p> <p>【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S (500点満点) = G + M + W</p> | <p>面接の評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学希望の理由 ・海外での経験を含め、本校で取り組みたいこと ・本校での教科等に対する学習意欲 ・本校での教科等以外の活動に対する意欲 ・将来の展望 <p>作文の評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解力 ・表現力 | 面接シート |
| 横浜市東 | 単位制普通科 | 学力検査(英国教) 面接 作文 | <p>①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=50点満点) ③作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W=50点満点)</p> <p>【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から選考する。 S (400点満点) = G + M + W</p> | <p>面接の評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学希望の理由 ・中学校での教科等に対する学習意欲 ・中学3年間の教科等以外の活動に対する意欲 ・高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・高校での教科・科目等以外に対する意欲 ・面接の態度 <p>作文の評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解力 ・表現力 ・創造性 | 面接シート |

【在県外国人等特別募集】

| 学校名 | 学科名等 | 実施する検査 | 選考方法 | 提出書類 | |
|-------|---------|-----------------|--|---|-------|
| 鶴見総合 | 単位制総合学科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=700点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=300点満点に換算する。) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 $S(1000点満点) = G + M$ | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・高校での学習意欲 ・高校での学校生活に対する意欲 ・面接の態度 | 面接シート |
| 横浜清陵 | 単位制普通科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=100点満点) 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 $S(400点満点) = G + M$ | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・高校での教科等に対する学習意欲 ・高校での教科・科目等に対する意欲 ・将来の展望 | なし |
| 横浜旭陵 | 単位制普通科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①調査票について、次の式により数値を算出する。 (第2学年の9教科の評定の合計) + (第3学年の9教科の評定の合計) × 2 (M=400点満点に換算する。) ②学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=400点満点に換算する。) ③面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=200点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 $S(1000点満点) = H + G + M$ | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・中学校での教科等に対する学習意欲 ・中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲 ・高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲 ・学校・学科等の特色の理解 ・将来の展望 | 面接シート |
| 新栄 | 普通科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=800点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=200点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 $S(1000点満点) = G + M$ | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・中学校での教科等に対する学習意欲 ・中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲 ・高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲 ・面接の態度 | 面接シート |
| 川崎 | 単位制普通科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=80点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=20点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 $S(100点満点) = G + M$ | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・学習意欲及び高校生活に対する積極性 ・将来に対する積極的な考え方 ・面接の態度 | なし |
| 大師 | 単位制普通科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=100点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 $S(400点満点) = G + M$ | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・高校での学習に対する意欲 ・高校での学習以外の活動に対する意欲 ・将来の展望 ・面接の態度 | 面接シート |
| 橋本 | 普通科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=90点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=10点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 $S(100点満点) = G + M$ | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・中学校での教科等に対する学習意欲 ・中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲 ・本校の特色理解 ・高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲 ・将来の展望 | 面接シート |
| 相模原弥栄 | 単位制普通科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=150点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=10点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 $S(160点満点) = G + M$ | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・耐校生活に対する意欲と積極性 ・将来の展望 | 面接シート |
| 高浜 | 普通科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=400点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=200点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 $S(600点満点) = G + M$ | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・中学校での教科等に対する学習意欲 ・中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲 ・高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲 ・学校・学科等の特色理解 ・将来の展望 | 面接シート |
| 藤沢総合 | 単位制総合学科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=100点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 $S(400点満点) = G + M$ | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・これまでの学校生活に対する意欲 ・高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲 ・将来の展望 | 面接シート |

| | | | | | |
|-----------------------|--------------------------------|-----------------|--|--|-------|
| 大和南 | 普通科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(NI=150点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(450点満点)=G+M ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(NI=100点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(400点満点)=G+M | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・高校での教科等の学習に対する意欲 ・将来の展望 ・特に前活動や行事に取り組む意欲、多様性を尊重する姿勢 ・面接の態度 | 面接シート |
| 伊勢原 | 普通科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(NI=100点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(400点満点)=G+M | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲 ・面接の態度 | 面接シート |
| 盛岡総合 | 単位制総合学科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(NI=100点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(400点満点)=G+M | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・個性や才能を伸ばそうとする意欲 ・高校での学習やその他の活動に対する意欲 ・将来の展望 ・面接の態度 | なし |
| 愛川 | 普通科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(NI=60点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(380点満点)=G+M | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・中学校や高校での学習意欲 ・面接の態度 | 面接シート |
| 横浜市立 みなと総合 | 単位制総合学科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=800点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=200点満点に換算する。) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(1000点満点)=G+M | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・これまでの学校生活での教科等に対する学習意欲 ・これまでの学校生活での教科等以外の活動に対する意欲 ・高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲 | 面接シート |
| 横浜市立 横浜商業 | 国際学科 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=80点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=20点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(100点満点)=G+M | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・受検者の旨所・特性 ・将来の展望 | なし |
| 横浜明朋 (定時制) | 単位制普通科 午前部 単位制普通科 午後部 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=60点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(NI=60点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(120点満点)=G+M | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・これまでの学習活動の取組を踏まえた高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・これまでの学校生活での教科等以外の活動に対する意欲 ・この活動に対する意欲 ・ルール、マナーを守る意識 ・面接の態度 | 面接シート |
| 相模岡臨館 (定時制) | 単位制普通科 午前部 単位制普通科 午後部 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=50点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(NI=50点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から合格者を決定する。 S(100点満点)=G+M | 面接の評価の観点 ・事前準備等の努力 ・入学希望の理由 ・高校生活に対する意欲 ・面接の態度 | なし |
| 横浜市立 横浜総合 (定時制) | 総合学科II部 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=600点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=400点満点に換算する。) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(1000点満点)=G+M | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・学校、学科の特色理解 ・これまでの学校生活での教科等に関する学習意欲 ・これまでの学校生活での教科等以外の活動に対する意欲 ・高校での学習および諸活動に対する意欲 ・面接の態度 | 面接シート |
| 川崎市立川崎 (定時制) | 普通科屋間部 | 学力検査(英国数) 面接 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=100点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(400点満点)=G+M | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・高校での学習に対する意欲 ・高校での学習以外の活動に対する意欲 ・面接の態度 | 面接シート |

【インクルーシブ教育実践推進校特別募集】

| 学校名 | 学科名等 | 実施する検査 | 選考方法 | 提出書類 |
|-----|------|--------|--|----------------------------------|
| 城郷 | 普通科 | 面接 | 面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=100点満点) 【選考】 M値の高い者から総合的に選考する。 | インクルーシブ教育 実践推進校特別募集用 面接シート |

【中途退学者募集】

| 学校名 | 学科名等 | 実施する検査 | 選考方法 | 提出書類 | |
|------|---------|-------------------|--|--|----|
| 横浜校場 | 単位制普通科 | 学力検査(英国教)面接 作文 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=90点満点) ③作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W=60点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(450点満点)=G+M+W | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・本校での教科・科目等に対する学習意欲 ・本校での教科・科目等以外の学校生活に対する意欲 作文の評価の観点 ・字数 ・理解力 ・構成力 ・表現力 ・創造性 ・正書法 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・学習意欲及び学校生活に対する積極性 ・将来に対する積極的な考え方 ・面接の態度 作文の評価の観点 ・理解力 ・表現力 ・創造性 | なし |
| 川崎 | 単位制普通科 | 学力検査(英国教)面接 作文 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=60点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=30点満点) ③作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W=10点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(100点満点)=G+M+W | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・総合学科の特色理解 ・本校での教科・科目等に対する学習意欲 ・本校での教科・科目等以外の活動に対する意欲 ・面接の態度 作文の評価の観点 ・字数 ・構成力 ・表現力 | なし |
| 麻生総合 | 単位制総合学科 | 学力検査(英国教)面接 作文 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=100点満点) ③作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W=100点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(500点満点)=G+M+W | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・総合学科の特色理解 ・本校での教科・科目等に対する学習意欲 ・本校での教科・科目等以外の活動に対する意欲 ・面接の態度 作文の評価の観点 ・字数 ・構成力 ・表現力 | なし |
| 厚木清南 | 単位制普通科 | 学力検査(英国教)面接 作文 | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=50点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=30点満点) ③作文について、観点ごとに評価し点数化する。(W=20点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(100点満点)=G+M+W | 面接の評価の観点 ・高校での教科・科目等に対する学習意欲 ・高校での教科・科目等以外の活動意欲 ・将来の期望 ・コミュニケーションに対する意欲 作文の評価の観点 ・理解力 ・表現力 | なし |

【別科】

| 学校名 | 学科名等 | 学力検査 | 特色検査 | 選考方法 | 提出書類 | |
|--------------|------|------|------|--|--|----|
| 横浜市立 横浜商業 | 理容科 | 英国数 | - | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=500点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=500点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(1000点満点)=G+M | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・理容業に対する理解度 ・学校生活や学習に対する意欲 ・職業への意識 ・面接の態度 | なし |
| | 美容科 | 英国数 | - | ①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=500点満点に換算する。) ②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=500点満点) 【選考】 次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。 S(1000点満点)=G+M | 面接の評価の観点 ・入学希望の理由 ・美容業に対する理解度 ・学校生活や学習に対する意欲 ・職業への意識 ・面接の態度 | なし |

10 特色検査の概要

【特色検査の概要】

自己表現検査の概要（全日制）

| 学校名 | 学科等 | 評価の観点 | 検査の概要 |
|-------|--------------------------------|--|--|
| 横浜翠嵐 | 普通科 | <ul style="list-style-type: none"> 論理的思考力・判断力・表現力 情報活用能力 創造力及び想像力 科学的思考力・判断力・表現力 | <ul style="list-style-type: none"> 提示された文章や資料を読み取り、中学校までに習得した知識・技能を教科横断的に活用して、問題を解決する思考力・判断力・表現力や創造力等を把握するための検査を行う。 なお、横浜国際高等学校国際科国際バカロレアコースについては、自分の考えを150～200語程度の英語で記述する問題を含む。 検査時間は60分とする。 |
| 川和 | 普通科 | | |
| 希望ヶ丘 | 普通科 | | |
| 横浜平沼 | 普通科 | | |
| 光陵 | 普通科 | | |
| 柏陽 | 普通科 | | |
| 横浜国際 | 単位制国際科 (国際バカロレア コースを除く。) | | |
| | 単位制国際科 国際バカロレア コース | | |
| 横浜緑ヶ丘 | 普通科 | | |
| 多摩 | 普通科 | | |
| 横須賀 | 普通科 | | |
| 鎌倉 | 普通科 | | |
| 湘南 | 普通科 | | |
| 茅ヶ崎北陵 | 普通科 | | |
| 平塚江南 | 普通科 | | |
| 小田原 | 単位制普通科 | | |
| 厚木 | 普通科 | | |
| 大和 | 普通科 | | |
| 相模原 | 普通科 | | |

※ 令和5年度神奈川県公立高等学校入学者選抜における特色検査について、すべての学力向上進学重点校とすべての学力向上進学重点校エントリー校の県立高等学校において、共通問題と共通選択問題を用いて実施します。

| 学校名 | 学科等 | 評価の観点 | 検査の概要 |
|-----------------------|--------------|---|---|
| 田奈 | 普通科 | <ul style="list-style-type: none"> 事前準備 協調性 自己理解力 意欲、取組姿勢 | <ul style="list-style-type: none"> 提示されたテーマについて自分の考えをまとめ、10分程度のグループでの話し合いを行う。話し合いの前に各自1分程度で日本語によるスピーチを行い、話し合い終了後に振り返りの発表を各自1分程度で行う。 テーマは志願時に受検者に提示する。 作品等の提示やパフォーマンスは行わない。 |
| 釜利谷 | 普通科 | <ul style="list-style-type: none"> 事前準備 取組姿勢 理解力 | <ul style="list-style-type: none"> 面接の前に日本語による2つのスピーチを行う。 (スピーチ1) 検査当日提示された3つのテーマのうちから1つを選び、30分程度で自分の考えをまとめたメモを作成して、メモを見ながら2～3分のスピーチを行う。 (スピーチ2) 「あなたがこれまでに真剣に取り組んだことや意欲的に取り組んだこと」をテーマに2～3分のスピーチを行う。 |
| 横須賀南 | 普通科 | <ul style="list-style-type: none"> 意欲、取組姿勢 協調性 思考力、判断力 | <ul style="list-style-type: none"> 提示されたテーマについてグループでの話し合いを行う。 テーマは検査当日に提示する。 検査時間は40分程度とする。 |
| 大井 | 普通科 | <ul style="list-style-type: none"> 事前準備 理解力 取組姿勢 | <ul style="list-style-type: none"> 志願時と検査当日に提示されたテーマについて、それぞれ日本語によるスピーチを行う。 志願時に提示されたテーマについて、自分の考えをまとめ3分程度のスピーチを行う。 検査当日に提示されたテーマについて、検査開始までの30分程度で自分の考えをまとめ2分程度のスピーチを行う。 |
| 大和東 | 普通科 | <ul style="list-style-type: none"> 事前準備 取組姿勢 理解力 表現力 | <ul style="list-style-type: none"> 志願時に発表するテーマについて、自分の考えを2分程度にまとめ、日本語でスピーチを行い、それに関する質問に答える。 |
| 神奈川総合 | 単位制 舞台芸術科 | <ul style="list-style-type: none"> 理解力 表現力 創造性 | <ul style="list-style-type: none"> グループ討論を行う。 グループ討論の詳細は出願時に提示する。 |
| 横浜市立 横浜サイエンスフロンティア | 単位制理数科 | <ul style="list-style-type: none"> 読解力 課題設定力 情報活用力 課題解決力 | <ul style="list-style-type: none"> 理科・数学・英語など各教科の基礎的・基本的な知識・技能を広く活用し、与えられた教科横断的な課題に対して、提示された資料をもとに記述する。 検査時間は60分とする。 |

自己表現検査の概要（定時制）

| 学校名 | 学科等 | 評価の観点 | 検査の概要 |
|-------|---------------|---|--|
| 相模向陽館 | 単位制普通科 午前部 | <ul style="list-style-type: none"> 学校の特色等の理解 伝達・表現する力 | <ul style="list-style-type: none"> 本校の特色やグランドデザインなどに関して、検査当日に与えられた課題について25分程度で記述する。 |
| | 単位制普通科 午後部 | <ul style="list-style-type: none"> 学校の特色等の理解 伝達・表現する力 | <ul style="list-style-type: none"> 本校の特色やグランドデザインなどに関して、検査当日に与えられた課題について25分程度で記述する。 |

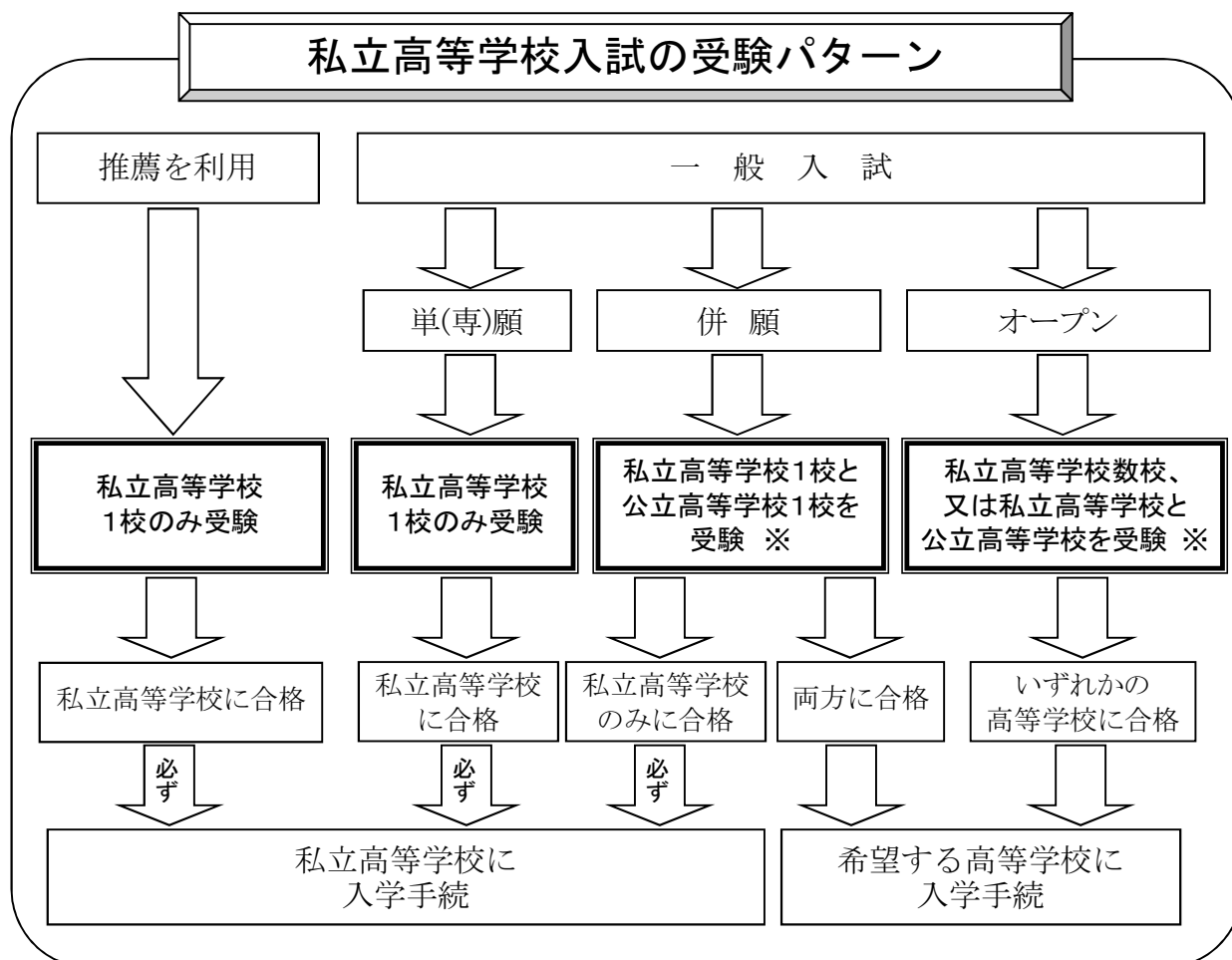
実技検査の概要 (全日制)

| 学校名 | 学科等 | 評価の観点 | 検査の概要 |
|------------|-------------|---|---|
| 神奈川工業 | デザイン科 | ・完成への意欲 ・表現の技術 ・空間と形状の把握 | ○ 与えられた題材を鉛筆でデッサン(素描)する。 ・鉛筆(2H～4B程度)、消しゴム(練り消しゴム可)を持参する。 ・鉛筆削り用のカッターナイフを持参してもよい。 ・題材及び用紙(B4画用紙)は学校で用意する。 ・検査時間は90分とする。 |
| 白山 | 美術科 | ・形の把握力 ・調子による表現力 ・画面構成力 | ○ 与えられた題材を鉛筆デッサン(素描)する。 ・鉛筆(濃さを変えて数本)と消しゴム(練り消しゴム可)を持参する。 ・用紙(B4画用紙)は学校で用意する。 ・検査時間は60分とする。 |
| 上矢部 | 美術科 | ・形を把握する力 ・画面構成力や明暗の調子、質感を表現する力 ・しっかりと描き込もうとする力 | ○ 与えられた題材を鉛筆でデッサン(素描)する。 ・鉛筆(2H～4Bの範囲で使用可)、練り消しゴム(消しゴム可)を持参する。 ・鉛筆削り用のカッターナイフを持参してもよい。 ・題材及び用紙(B4画用紙)は学校で用意する。 ・検査時間は90分とする。 |
| 厚木北 | スポーツ科学科 | ・運動の能力 ・技能力 | ○ 共通種目：敏捷性テスト(反復横とび)、瞬発力テスト(立ち幅とび) ○ 専門種目：スポーツ科学科で学習する次の内容のうち()内の10種目の中から1種目を選択し、その種目についての技能を検査する。 ・測定競技(陸上競技)・・・走・跳・投の各種目から1種目を選択する。 ・ゴール型球技(サッカー、バスケットボール、ハンドボール) ・ネット型球技(バレーボール、ソフトテニス、バドミントン) ・ベースボール型球技(ソフトボール) ・ターゲット型球技(ゴルフ) ・武道(柔道) 【提出書類】実技選択種目様式 |
| 川崎市立川崎総合科学 | デザイン科 | ・完成への意欲、集中力 ・描写の技術 ・表現力 | ○ 与えられた題材を鉛筆でデッサン(素描)する。 ・鉛筆(H～2B程度)、消しゴム(練り消しゴム可)を持参する。 ・題材及び用紙(B4画用紙)は学校で用意する。 ・検査時間は90分とする。 |
| 横浜市立横浜商業 | スポーツマネジメント科 | ・正確性(技術の確かさ、正確度) ・技能力(技能の高さ、専門性) | ○ 次の実技検査種目の中から1種目を選択し、実技検査を行う。 ・ベースボール型球技(ソフトボール) ・ネット型球技(卓球、ソフトテニス、バレーボール) ・ゴール型球技(バスケットボール、サッカー) ・基礎運動実技 【提出書類】実技検査選択種目提出用紙 |
| 川崎市立橋 | スポーツ科 | ・運動の能力 ・技能の正確性 | ○ 共通種目：反復横跳び ○ 選択種目：サッカー、バレーボール、バスケットボール、陸上競技、剣道、ソフトテニス、ソフトボール 以上の7種目から1種目を選択する。 ※ただし、陸上競技については「短距離走、長距離走、障害走、走幅跳、走高跳、投てき」から1種目を選択する。 ・検査時間は共通種目、選択種目合わせて60分間とする。 【提出書類】実技検査選択種目提出用紙 |
| 横浜市立戸塚 | 単位制普通科音楽コース | ・演奏技術 ・演奏表現 ・曲の完成度 | ○ 入学後、主に取り組む楽器で、次の内容を演奏する。 ・演奏時間は1人につき①②合わせて約3分とする。 ・課題によっては途中で演奏を止める場合がある。 ①音階 ②課題曲 ・音階の詳しい内容・課題曲については、戸塚高校ホームページ及び学校説明会にて提示する。 (受検可能な楽器) フルート、ピッコロ、オーボエ、ファゴット、B♭クラリネット、E♭クラリネット、アルトクラリネット、バスクラリネット、アルトサキソフォン、テナーサキソフォン、バリトンサキソフォン、トランペット、ホルン、トロンボーン、バストロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、 打楽器(スネアドラムとマリンバ、又はマリンバのみ)、ピアノ 【提出書類】実技検査楽器提出用紙 |
| 相模原弥栄 | 単位制音楽科 | ・演奏技術 ・演奏表現 ・楽曲の完成度 | ○ 専攻とする器楽又は声楽の実技検査 ・専攻については以下の通りとする。 ピアノ専攻 管弦打楽器専攻：フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、クラシックギター、ハープ、小太鼓、マリンバ 電子オルガン専攻 声楽専攻 ・専攻ごとに指定された課題を演奏する。課題については、相模原弥栄高校ホームページ及び学校説明会にて提示する。 【提出書類】実技検査提出用紙 |
| | 単位制美術科 | ・表現の技術 ・表現の工夫 | ○ 与えられた題材3つを鉛筆デッサン(素描)する。 ・鉛筆(2H、H、F、HB、B、2B、3B、4Bの範囲で使用可)を持参する。 ・練り消しゴム、鉛筆削り用のカッターナイフを持参してもよい。 ・B4画用紙は学校で用意する。 ・検査時間は90分とする。 |
| | 単位制スポーツ科学科 | ・基礎身体運動技能 ・専門競技運動技能 | ○ 実技検査 1)基礎身体運動技能(全受検者共通) 走力・跳力・投力 2)専門競技運動技能(必修選択) バレーボール、バスケットボール、バドミントン、サッカー、陸上競技、剣道、ベースボール型実技、総合運動技能(筋力、筋持久力、巧緻性、柔軟性、調整力) 以上の8種目から1種目を選択し、技能検査を行う。 ※ただし、陸上競技については、「短距離走、中・長距離走、ハードル走、跳躍、投てき」から1種目を選択する。 【提出書類】実技検査選択種目提出用紙 |
| 神奈川総合 | 単位制舞台芸術科 | ○ 身体表現 ・身体を動かす能力 ・表現の創意工夫 ○ 演技表現 ・ことばで伝える能力 ・表現の創意工夫 | ○ 身体表現 ・当日指定した順序で、「歩く」、「走る」、「ジャンプする」などの動作を連続して行う。 ○ 演技表現 ・出願時に与えられた課題文(戯曲または会話の入った文章)を声に出して読む。 |

1 2 県内私立高等学校入学者選抜の概要

| 入学者の選抜方法 | | 学力試験 | 受験校と併願校 | 試験日 | 入学手続日 | 中学校校長推薦 |
|----------|--------|------|-----------------------|------------|---|---------|
| 推薦入試 | 推薦 | 原則なし | 私立1校のみ受験可 | 1月22日(日)以降 | 合格発表日以降に各高等学校が設定 | 必要 |
| 一般入試 | 単(専)願 | あり | 私立1校のみ受験可 | 2月10日(金)以降 | 合格発表日以降に各高等学校が設定 | 無 |
| | 併願 | あり | 私立1校のみ受験 公立共通選抜併願可 | | 入学金以外の納入金の締切日は、公立共通選抜の合格発表の翌日(3月1日(水))以降に各高等学校が設定 | 無 |
| | オープンなど | あり | 私立・公立とも併願可 | | | 無 |

※ 上記はあくまで原則ですので、試験日、入学手続日などは、各高等学校の募集要項を確認してください。



※ 公立高等学校の受検上の注意については、10ページを参照してください。

公募を行う県内の私立高等学校一覧

| 所在地 | 学 校 名 | 課程 学科 | 男 女 | 問合せ先 | 所在地 | 学 校 名 | 課程 学科 | 男 女 | 問合せ先 | | |
|-------------|-------------|-------------|------------|----------|--------------|------------------|--------------|-----------|----------|--------------|--------------|
| 横 浜 市 | 鶴見区 | 白 鵬 女 子 | 普 | 女 | 045-581-6721 | 川 崎 市 | 多摩区 日本女子大学附属 | 普 | 女 | 044-952-6711 | |
| | | 聖 ヨ ゼ フ 学 園 | 普 | 女 | 581-8808 | | 麻生区 桐 光 学 園 | 普 | 共 | 987-0519 | |
| | | 橘 学 苑 | 普 | 共 | 581-0063 | 相 模 原 市 | 中央区 麻布大学附属 | 普 | 共 | 042-757-2403 | |
| | | 鶴見大学附属 | 普 | 共 | 581-6325 | | 南区 | 相模女子大学 | 普 | 女 | 742-1442 |
| | | 法政大学国際 | 普 | 共 | 571-4482 | | | (光明学園)相模原 | 普 | 共 | 778-3333 |
| | 神奈川区 | 横浜創英 | 普 | 共 | 421-3121 | 東海大学付属相模 | 普 | 共 | 742-1251 | | |
| | | 捜真女学校 | 普 | 女 | 491-3686 | 横須賀市 | 湘南学院 | 普 | 共 | 046-833-3433 | |
| | 南区 | 関東学院 | 普 | 共 | 231-1001 | | 三浦学苑 | 普・工技 | 共 | 852-0284 | |
| | | 保土ヶ谷区 | 横浜清風 | 普 | 共 | | 731-4361 | 緑ヶ丘女子 | 普 | 女 | 822-1651 |
| | 磯子区 | | 横浜学園 | 普 | 共 | | 751-6941 | 横須賀学院 | 普 | 共 | 822-3218 |
| | 金沢区 | 関東学院六浦 | 普 | 共 | 781-2525 | 平塚市 | 平塚学園 | 普 | 共 | 0463-22-0137 | |
| | | 横 浜 | 普 | 共 | 781-3396 | | 鎌倉市 | 鎌倉学園 | 普 | 男 | 0467-22-0994 |
| | | 横浜創学館 | 普 | 共 | 781-0631 | 北鎌倉女子学園 | | 普・音 | 女 | 22-6900 | |
| | 港北区 | 慶應義塾 | 普 | 共 | 566-1381 | 鎌倉女子大学 | | 普 | 女 | 44-2113 | |
| | | 英理女子学院 | 普 | 女 | 431-8188 | 藤沢市 | 鶴 沼 | 普 | 共 | 0466-22-4783 | |
| | | 日本大学 | 普 | 共 | 560-2600 | | 湘南工科大学附属 | 普 | 共 | 34-4114 | |
| | | 武 相 | 普 | 男 | 401-9042 | | 日本大学藤沢 | 普 | 共 | 81-0123 | |
| | 清心女子 | (通)普 | 女 | 421-8864 | 藤嶺学園藤沢 | | 普 | 男 | 23-3150 | | |
| | 栄区 | 山手学院 | 普 | 共 | 891-2111 | | 藤沢翔陵 | 普・商 | 男 | 81-3456 | |
| | 泉区 | 秀 英 | (通)普 | 男 | 806-2100 | 小田原市 | 旭 丘 | 普・総 | 共 | 0465-24-2227 | |
| | 旭区 | 横浜商科大 | 普・商 | 共 | 951-2246 | | 相 洋 | 普・商 | 共 | 22-0211 | |
| | | 星 槎 | 注 5 (全・通)普 | 共 | 442-8686 | 茅ヶ崎市 | アレセイア湘南 | 普 | 共 | 0467-87-0132 | |
| | | 横浜富士見丘学園 | 普 | 共 | 367-4380 | 逗子市 | 聖和学院 | 普・英 | 女 | 046-871-2670 | |
| | 緑区 | 横浜翠陵 | 普 | 共 | 921-0301 | 厚木市 | 厚木中央 | (通)普・工 | 共 | 046-221-5678 | |
| | 瀬谷区 | 横浜隼人 | 普・国 | 共 | 364-5101 | | 大和市 | 柏木学園 | 普 | 共 | 046-260-9011 |
| | | 青葉区 | 桐 蔭 学 園 | 普 | 共 | 971-1411 | | 聖セシリア女子 | 普 | 女 | 275-3727 |
| | 都筑区 | 中央大学附属横浜 | 普 | 共 | 592-0801 | 伊勢原市 | 向 上 | 普 | 共 | 0463-96-0411 | |
| | 川 崎 市 | 中原区 | 大 西 学 園 | 普 | 共 | 044-722-9201 | 松田町 | 立 花 学 園 | 普 | 共 | 0465-83-1081 |
| | | | | 家 | 女 | | 箱根町 | 函嶺白百合学園 | 普 | 女 | 0460-87-6611 |
| | | | 法政大学第二 | 普 | 共 | 711-4321 | | | | | |

この一覧は令和4年4月現在のものです。

変更になることがありますので各高等学校にお問い合わせください。

注1 県内の高等学校でも公募を行っていない高等学校は掲載していません。

注2 課程学科欄の「(通)」は通信制、「(全・通)」は全日制及び通信制、それ以外はすべて全日制です。

注3 課程学科欄の「普」は普通、「商」は商業、「国」は国際語、「家」は家庭、「音」は音楽、「工技」は工業技術、「総」は総合、「英」は英語、「工」は工業の各学科です。

注4 中学生の卒業後の進路としては、この一覧のほか、専修学校の高等課程などがあります。

注5 星槎高等学校については、入学資格として、教育上特別な配慮が必要であること、不登校あるいは不登校傾向にあると認められることが必要です。

募集定員・学費など

入学資格、募集定員、学納金については、各高等学校に直接お問い合わせください。

13 公立高等学校の受検料等の額

I 受検料等の額について

(令和4年5月1日現在における令和5年度入学生予定額です。)

(1) 受検料

| 区分 | 県立 | 横浜市立 | 川崎市立 | 横須賀市立 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全日制の課程 | 2,200円 | 2,200円 | 2,200円 | 2,200円 |
| 定時制の課程 | 950円 | 650円 | 950円 | 950円 |
| 通信制の課程 | 無料 | | | |

(2) 入学料

| 区分 | 県立 | 横浜市立 | 川崎市立 | 横須賀市立 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全日制の課程 | 5,650円 | 5,650円 | 5,650円 | 5,650円 |
| 定時制の課程 | 2,100円 | 1,200円 | 2,100円 | 2,100円 |
| 通信制の課程 | 無料 | | | |

※ 経済的な理由で支払いが困難な方に対し、受検料、入学料の全部または一部を免除する制度があります。(36ページを参照)

(3) 授業料

| 区分 | 県立 | 横浜市立 | 川崎市立 | 横須賀市立 |
|--------|-----------------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 全日制の課程 | (年額) 118,800円 | (年額) 118,800円 | (年額) 118,800円 | (年額) 118,800円 |
| 定時制の課程 | (年額) 32,400円 | (年額) 32,400円 | (年額) 32,400円 | (年額) 32,400円 |
| 通信制の課程 | 1単位 350円 (平日登校履修は 1単位 700円) | | | |

※ 以下の算定式により計算した額が、30万4,200円未満(年収910万円程度未満)の世帯については、申請の手続を行うことで、授業料をご負担いただく必要がなくなります。(36ページを参照)

【算定式】(市町村民税の)課税標準額×6% - (市町村民税の)調整控除の額
(ただし政令指定都市は、調整控除の額に3/4を乗じる)

II 受検料等に関する問合せ先

受検料等については、各高等学校または下記の所属にお問い合わせください。

| 区分 | 所属名 | 電話番号 |
|-------|----------------------------------|--------------------|
| 県立 | 神奈川県教育委員会教育局行政部財務課 | (045)210-8113 (直通) |
| 横浜市立 | 横浜市教育委員会事務局学校教育企画部 学校支援・地域連携課 | (045)671-3474 (直通) |
| 川崎市立 | 川崎市教育委員会事務局総務部学事課 | (044)200-3269 (直通) |
| 横須賀市立 | 横須賀市教育委員会事務局学校教育部教育指導課 | (046)822-8525 (直通) |

III その他の経費について

神奈川県公立高等学校では、このほかに教科書代・副教材代・修学旅行費などの経費がかかります。

詳細については、各高等学校にお問い合わせください。

入学検定料等減免制度（県の制度）

（令和4年5月1日現在における制度であり、内容については改定する場合がありますので事前に確認してください。）

県立の高等学校では、受検料、入学料の全部または一部を免除する制度があります。免除の対象になるのは、次のいずれかに該当する方です。

- ①生活保護を受給されている方 ②児童福祉施設に入所されている方又は里親に保護を受けている方 ③経済的な理由で支払いが困難な方 ※ただし「③経済的な理由で支払いが困難な方」の場合は、課税証明書等による審査が必要となります。
- 手続について
12月中旬以降に通学している中学校を通じて、申請書を入手してください。なお、免除申請手続は、各高等学校で行います。
- 申請期限について
免除申請手続は、受検料は願書受付開始日の前日までに、入学料は入学手続開始日の前日までに済ませてください。期限を過ぎたものについては免除することはできません。
- 問合せ先 各高等学校の事務室 または
県教育委員会財務課財務指導グループ TEL (045)210-8113(直通)
- 横浜市立、川崎市立、横須賀市立の各高等学校でも減免制度がありますので、各市立高等学校の事務室または各市の教育委員会にお問い合わせください。

14 公立高等学校の就学支援金制度の概要

県立、市立共通の制度

（内容については改定する場合がありますので事前に確認してください。）

公立高等学校は原則として授業料を徴収しますが、申請の手続をすることにより、授業料の負担がなくなる場合があります。

- 対象となる方
以下の算定式により計算した額が、30万4,200円未満（年収910万円程度未満）の世帯の生徒 **【算定式】（市町村民税の）課税標準額×6%－（市町村民税の）調整控除の額**
（ただし政令指定都市は、調整控除の額に3/4を乗じる）
- 支給額
全日制：（年額）118,800円 定時制：（年額）32,400円
通信制：1単位336円
※ 生徒は授業料を納めることなく、学校が生徒に代わって国より就学支援金を受領し、授業料に充てます。（実際に支給額が支給される制度ではありません。）
※ 通信制については、受講料の納付後、年度末に還付します。
- 手続について
入学する高等学校で合格発表時に申請書等を配付します。
原則として、マイナンバーカードの写し等（マイナンバーにより「市町村民税の課税標準額」と「市町村民税の調整控除の額」を確認します。）を添付して入学する高等学校に申請書をご提出いただきます。
◇ 対象となる方は必ず手続をしてください。手続が行われないと授業料をご負担いただきます。
- 問合せ先 各高等学校の事務室
または 県教育委員会財務課財務指導グループ TEL (045)210-8113(直通)
※ 手続は各高等学校で行います。

15 高校生の就学援助制度の概要

I 県の制度

(内容については改定する場合がありますので事前に確認してください。)

1 神奈川県奨学金（貸付け）

(1) 高等学校奨学金

- 貸付対象（次のア・イのいずれにも該当し、学校長が推薦する生徒）
 - ア 生徒本人又は保護者が神奈川県内に住所を有し、高等学校等（高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部又は専修学校の高等課程）に在学する生徒
 - イ 保護者（同一生計の父母。父母がいない場合は代わって家計を支えている方）の「都道府県民税所得割額」と「市町村民税所得割額」の合算額が507,000円未満であること
- 貸付月額

学年及び学校区分により申込みができる基本月額が異なります。

| 学年 | 学校区分 | 申込みができる基本月額 | | | | | 加算を申込 んだ場合※ |
|-----------------|------|-------------|---------|---------|---------|---------|----------------|
| | | 10,000円 | 20,000円 | 30,000円 | 40,000円 | 50,000円 | |
| 1年生 (新入生に限る) | 国公立 | 10,000円 | 20,000円 | 30,000円 | / | / | — |
| | 私立 | 10,000円 | 20,000円 | 30,000円 | 40,000円 | 50,000円 | — |
| 上記以外 の生徒 | 国公立 | 10,000円 | 20,000円 | / | / | / | 30,000円 |
| | 私立 | 10,000円 | 20,000円 | 30,000円 | 40,000円 | / | 50,000円 |

※ 貸付月額の加算（1年生（新入生）以外が対象）

国公立20,000円、私立40,000円では必要な学資を賅えない場合に、その事情等を記載した書類を提出することにより、基本月額に10,000円を加算することができます。

- 貸付期間 4月から3月までの1年間
- 申込方法
 - ・ 予約採用 中学3年生の時(11月上旬に中学校を通じてご案内します。)に予約の申込みをすることができます。(申込みの期限があります。)
 - ・ 在学採用 入学後、4月に学校を通じて手続きをします。
 - ※ 家計急変などで年度途中で学資の援助が必要となった場合は随時に受付をします。
- 返還方法 無利息で、卒業後6か月の据置期間を経過した後、貸付期間の4倍以内の期間で返還していただきます。

(2) 短期臨時奨学金

- 高等学校等に在学することとなる生徒の進学準備のための費用に充てられるよう、入学前の3月末に高等学校奨学金の一部に相当する額を前倒して貸し付ける制度です。
- 貸付金額 120,000円
- 対象者 高等学校奨学金の予約採用奨学生として採用された方
- 申込方法 高等学校奨学金の予約採用決定時にご案内します。
- 返還方法 入学後に応募する高等学校奨学金の貸付金の一部と相殺して返還します。

※ 問合せ先 **入学した高等学校等の奨学金担当者 または
県教育委員会財務課高校奨学金グループ** Tel. (045) 210-8251 (直通)

- (1)(2)のいずれの奨学金も連帯保証人（独立の生計を営む成年者）が原則2人必要になります。
- 奨学金の貸付けにあたっては選考を行いますので、必ず貸付けされるとは限りません。
- 応募要件等は変更される場合がありますので、令和5年度の募集案内（令和5年3月作成予定）を参照してください。

2 高校生等奨学給付金（返還不要）

(1) 対象者（次のア～ウのいずれにも該当する世帯）

- ア 保護者等が神奈川県内に住所を有していること。
- イ 生活保護（生業扶助）受給世帯または住民税所得割非課税世帯であること。
- ウ 就学支援金、学び直し支援金または専攻科支援金受給対象である高校生等がいること。

(2) 支給額（年額）

| 世帯区分 | | | 学校区分 | 全日制 定時制 | 通信制 | 専攻科 |
|-----------------|-------------------------------------|-----|----------|------------|---------|---------|
| 生活保護（生業扶助）受給世帯 | | | 国公立 | 32,300円 | | 給付対象外 |
| | | | 私立 | 52,600円 | | 給付対象外 |
| 住民税所得割 非課税世帯 | 15歳以上 23歳未満の 扶養されている 兄弟姉妹が | いない | 国公立 | 114,100円 | 50,500円 | 50,500円 |
| | | | 私立 | 134,600円 | 52,100円 | 52,100円 |
| | いる | 国公立 | 143,700円 | 50,500円 | 50,500円 | |
| | | 私立 | 152,000円 | 52,100円 | 52,100円 | |

(3) 手続きについて 入学後、学校を通じて手続きをします。

◆ 新入生を対象とした一部早期給付制度や家計急変世帯を対象とした給付制度もあります。

※ 問合せ先 入学した高等学校等の事務室 または

- <国公立> 県教育委員会財務課高校奨学金グループ TEL (045)210-8251(直通)
- <私立> 県福祉子どもみらい局私学振興課助成グループ TEL (045)210-3793(直通)

3 母子父子寡婦福祉資金

- 母子家庭または父子家庭で、生徒の修学等にあたり、経済的に援助を必要としている方を対象に資金の貸付けを行っています。

○ 貸付額

修学に必要な資金（修学資金）

| | |
|----|---------------------------|
| 公立 | 月額 18,000円以内(上限額 27,000円) |
| 私立 | 月額 30,000円以内(上限額 45,000円) |

（自宅外の通学は、増額貸付けが受けられます。特に認める場合に限り上限額まで貸付可能です。）

入学に必要な資金（就学支度資金）

| | |
|----|------------|
| 公立 | 150,000円以内 |
| 私立 | 410,000円以内 |

（自宅外の通学は、増額貸付けが受けられます。）

- 問合せ先
 - ・横浜、川崎、相模原、横須賀にお住まいの方は、各市の母子父子福祉担当課
 - ・その他の市町村在住の方は、お住まいの市 または 県福祉子どもみらい局子ども家庭課家庭福祉G TEL (045)210-1111(内線 4671、4677)

II 市町村の奨学金制度

市町村の奨学金制度

市町村の奨学金制度は、市町村ごとに申請締切日や年収額などの要件がことなりますので、詳細については、お住まいの市町村の教育委員会にお問い合わせください。

III その他の学費助成制度

| 名 称 | 団 体 名 | 問い合わせ先 |
|------------|------------------|--|
| 国の教育ローン | 日本政策金融公庫 | 教育ローンコールセンター (0570)008656 または (03)5321-8656 または日本政策金融公庫各支店 |
| 交通遺児育英会奨学金 | (公財) 交通遺児育英会 | (0120)521286(フリーダイヤル) |
| 生活福祉資金 | (社福) 神奈川県社会福祉協議会 | (045)311-1426 |
| 教育ローン | 一般市中金融機関 | |

16 私立高等学校等の学費支援制度等について

神奈川県では私立高等学校等に在学する生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、入学金・授業料の返還不要の補助を行っています。

授業料については、年収約700万円未満の世帯の方に対して、県内私立高校の平均授業料456,000円まで、入学金については、生活保護世帯・住民税非課税世帯の方に対して県内私立高校の平均入学金210,000円まで支援します。

また、多子世帯については、年収約800万円未満の世帯の方に対して、県内私立高校の平均授業料456,000円まで支援します。

私立高等学校等…専修学校（高等課程）、中等教育学校（後期課程）を含みます。

令和4年5月1日時点の制度となります。

令和4年度の授業料・入学金補助額（年額）

- 補助額の判定は、「市町村民税の課税標準額×6%－市町村民税の調整控除の額※1」（父母合計額）にて行います。
- 以下の「年収の目安」は、あくまでも目安であり、所得控除の状況などにより変わります。
- 学校への納付額が補助額を下回る場合、納付額が上限額となります。

| | 所得区分 | 授業料補助 | | 入学金補助 | | |
|---------------|---------------|----------------------------|----------------------------|--------------------------------|----------|--------------------------------|
| | | ①高等学校等就学支援金(国) | ②学費補助金(県) | | | |
| 年収目安（モデル世帯※4） | 生活保護 | 生活保護 | 396,000円 (通信制 297,000円) | + 60,000円 通信制 (159,000円) | 210,000円 | ➡ 授業料:456,000円 入学金:210,000円 |
| | 非課税 | 「県民税・市町村民税の所得割額の合算額」が0円 ※2 | | | | |
| | 270万円～590万円未満 | 154,500円未満 | 396,000円 (通信制 297,000円) | + 60,000円 通信制 (159,000円) | 100,000円 | ➡ 授業料:456,000円 入学金:100,000円 |
| | 590万円～700万円未満 | 203,100円未満 | 118,800円 | + 337,200円 | 100,000円 | ➡ |
| | 700万円～750万円未満 | 227,100円未満 | 118,800円 | + 74,400円 | 100,000円 | ➡ 授業料:193,200円 入学金:100,000円 |
| | 多子世帯※3 | 227,100円未満 | 118,800円 | + 337,200円 | 100,000円 | ➡ 授業料:456,000円 入学金:100,000円 |
| | 750万円～800万円未満 | 251,100円未満 | 118,800円 | | | ➡ 授業料:118,800円 |
| | 多子世帯※3 | 251,100円未満 | 118,800円 | + 337,200円 | | ➡ 授業料:456,000円 |
| | 800万円～910万円未満 | 304,200円未満 | 118,800円 | | | ➡ 授業料:118,800円 |
| | 多子世帯※3 | 304,200円未満 | 118,800円 | + 74,400円 | | ➡ 授業料:193,200円 |

※1 政令指定都市の場合は、「調整控除の額」に3/4を乗じます。

※2 「市町村民税の課税標準額×6%－市町村民税の調整控除の額」では判定しません。

※3 多子世帯…15歳以上23歳未満の扶養している子ども（中学生を除く）が3人以上いる世帯

※4 モデル世帯…親権者1名のみ収入があり、専業主婦（主夫）と扶養控除内に子ども2人の4人家族

①就学支援金（国の制度）……私立高等学校等に在学する生徒が、家庭の状況にかかわらず、安心して勉学に打ち込めるよう、授業料を補助する制度です。

②学費補助金（県の制度）……私立高等学校等に在学する生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、入学金・授業料を補助する制度です。生徒・保護者等ともに県内在住、かつ県内設置の私立高等学校等に通う生徒が対象となります。

このページの問い合わせ先

福祉子どもみらい局子どもみらい部私学振興課助成グループ ☎(045)210-3793(直通)

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3e/jyosei/gakuhsien/index.html>

神奈川県 学費支援

検索

◆ 県外・海外・私学からの 令和5年度神奈川県公立高等学校への志願について

県外・海外在住で神奈川県内に転居予定の人、県内在住で県内の公立中学校に在籍していない人等を対象とした説明会を予定しています。

説明会では、中学校に渡していただく書類も含め、志願に必要な書類等をすべて配付します。代理の方（ご親戚やお知り合いの方）でも構いませんので、できる限り出席してください。また、県外および海外にお住まいの方は、「令和5年4月1日までに転居予定の県内の住所」を証明する書類（神奈川県公立高等学校入学志願資格承認申請書（第15号様式））を提示して、志願資格の承認申請をしていただく必要がありますので、申請期間等に注意してください。

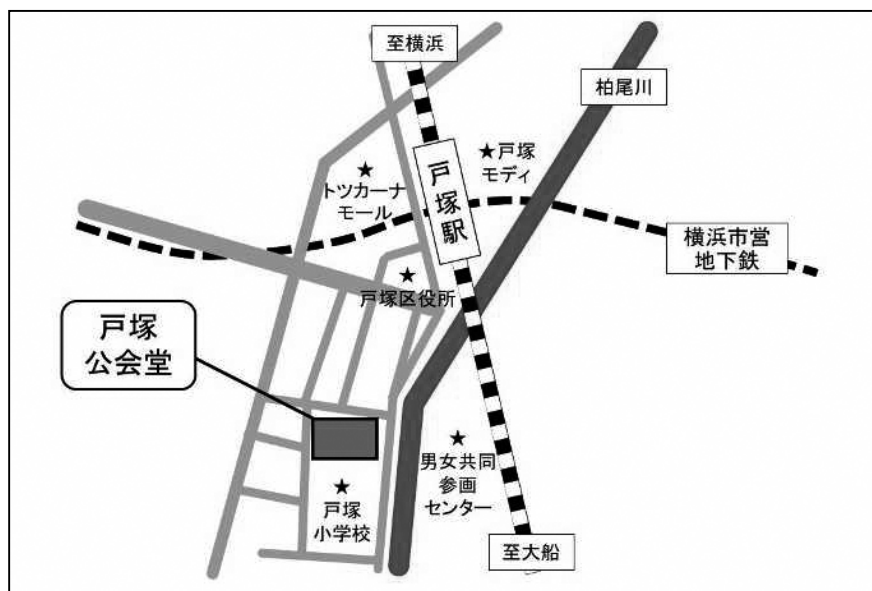
※ 県内の公立中学校に在籍していない人で、日本語を母語としない方向けの説明会を同時に開催します（通訳予定あり）。

令和5年度神奈川県公立高等学校入学者選抜への 県外・海外・私立等からの志願者説明会

【日時】 令和4年12月3日（土）

【会場】 戸塚公会堂 横浜市戸塚区戸塚町127
（「戸塚駅」西口より徒歩4分程度）

※ 説明会の参加について、事前申込は不要です。



※ 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、変更および中止となる場合があります。詳細については次のホームページに掲載しますので事前にご確認ください。

[神奈川県教育委員会 HP 神奈川県公立高等学校入学者選抜について]

URL : <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/kanagawa.html>

令和5年度神奈川県公立高等学校入学者選抜
募 集 案 内

発 行 令和4年7月
発 行 者 神奈川県教育委員会
教育局指導部高校教育課

【問合せ先】

| | | |
|-----------|-----------------------------|--------------------|
| 県立高等学校 | ……神奈川県教育委員会教育局指導部高校教育課 | (045)210-8084 (直通) |
| 横浜市立高等学校 | ……横浜市教育委員会事務局学校教育企画部高校教育課 | (045)671-3272 (直通) |
| 川崎市立高等学校 | ……川崎市教育委員会事務局学校教育部指導課 | (044)200-3243 (直通) |
| 横須賀市立高等学校 | ……横須賀市教育委員会事務局学校教育部教育指導課 | (046)822-8479 (直通) |
| 私立高等学校 | ……神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部私学振興課 | (045)210-3768 (直通) |